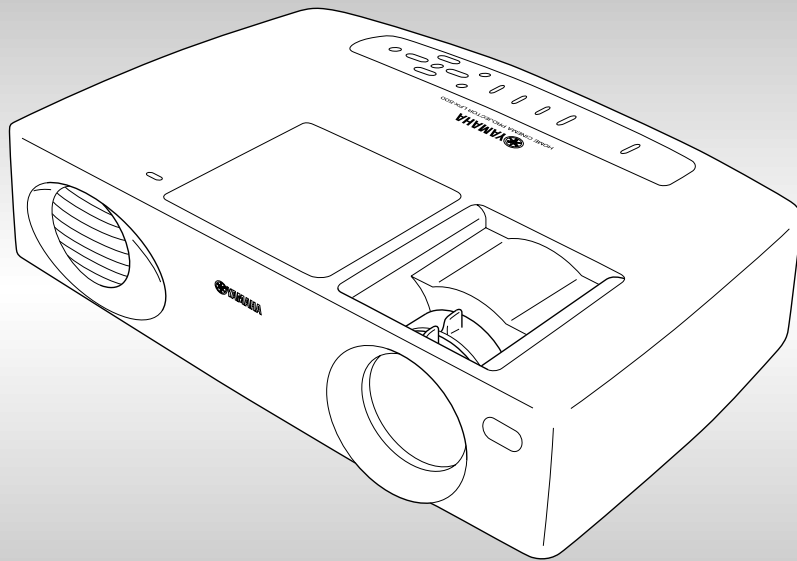


LPX-500

ホーム シネマ プロジェクター



このたびは、ヤマハホームシネマプロジェクター LPX-500 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の優れた性能を充分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

保証書をご確認ください

保証書に販売店名、購入日などが記入されておられませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがあります。

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表示しています。
たとえば▲は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表示しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がする。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかる場所
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。ランプとエアフィルター交換時を除き、キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱スペース確保のため、排気口及び吸入口のそばにはものを置かない。

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- 本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を迫る可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

必ず AC 100 ~ 120V/ 220 ~ 240V 50/ 60Hz の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機を不安定なところには置かない。
本機の転倒や落下によりランプが破裂して、けがをする原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。
●水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
●接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



禁止

ランプの点灯中は、決して光源レンズをのぞかない。
強い光によって視力障害などを引き起こす原因となります。



注意

本機に使われている水銀ランプは取扱いを間違えると破裂するおそれがあります。
●ランプに衝撃や傷を与えない。 ●ランプ交換時期を越えて使用しない。
●本機を使用中はランプに顔を近づけない。
けがや中毒を起こす原因となります。
万一ランプが破裂した場合は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり目や口に入れないようにご注意ください。すみやかに部屋の換気を行い、新しいランプの交換を販売店にご依頼ください。



必ず行う

プロジェクターを天吊りしている状態で、破裂したランプを交換する場合は、天吊りユニットから外してから交換する。
天吊りしたまま交換すると、ガラス破片がこぼれ落ちて、けがの原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



必ず行う

電池は極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバックなどに入れて携帯しない。

端子間でショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ほこりや湿気の多いところへ設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



必ず行う

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用コード以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れたまましばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



禁止

ランプを点灯した状態でレンズキャップをつけたまま放置しない。

レンズ部に熱がこもり故障の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

動作中や停止直後のランプには手を触れない。

高熱により火傷をする原因となることがあります。
(ランプ交換は、ランプが充分冷えた状態で行ってください。)



注意

ランプは破裂しているおそれがあります。ランプカバーを開ける際は、ガラス破片にご注意ください。



注意

天吊りなどの工事は技術と経験が必要です。販売店にご依頼ください。
(不十分な取付けは、本機が落下して、けがをする原因となることがあります。)



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因となることがあります。

表示について

 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録用語解説」をご覧ください。☞ p.56
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(ボタン名)]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例： [ESCAPE]
[(メニュー名)]	メニューの項目を示しています。 例： 「画質」 - 「白レベル」

目次

使用・保管時のご注意	2
付属品	3
本機の特長	4
基本的な操作	
電源を入れて投写しよう	6
電源ケーブルの接続	6
電源 ON、投写開始	7
電源を切り終了しよう	8
投写画面を調整しよう	10
投写サイズの微調整	10
投写角度の調整	10
台形にゆがむ場合の調整	11
テストパターンを表示してみよう	12
画質を調整しよう	13
ピントの調整（フォーカス調整）	13
映り具合を選ぶ（ピクチャーモード選択）	13
映像の縦横比の選択（アスペクト比の選択）	14
コンピューター映像の自動調整（オート調整）	16
お好みの画質に調整するための機能	
代表的な画質調整機能	18
メニューの操作方法	18
機能の紹介	21
お好みの画質を記憶／呼び出す（メモリー保存）	22
メニューの機能	24
「画質」メニュー	24
「信号」メニュー	27
「設定」メニュー	28
「情報」メニュー	29
困ったときに	
故障かなと思ったら	32
インジケータースを見てもわからないとき	34
付 録	
お手入れの方法	42
各部の掃除	42
消耗品の交換	43
オプション品一覧	47
対応解像度一覧	48
コンポーネント映像入力	48
コンポジット映像 /S ビデオ入力	48
RGB 入力	49
仕様一覧	50
外形寸法図	51
各部の名称と働き	52
前面／上面	52
本体操作パネル	53
背面	54
底面	54
リモコン	55
用語解説	56
索引	58

基本的な操作

お好みの画質に調整するための機能

困ったときに

付 録

使用・保管時のご注意

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

取り扱い・保管上のご注意

- 高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。
正しく、動作しない場合があります。
- レンズを素手でさわらないでください。
レンズ面に指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。本機を使用しないときはレンズにレンズキャップを取り付けてください。
- 投写中、点灯したままの点（ドット）や消灯したままの点が見れる場合があります。
これは、液晶パネルの特性で起きるもので、故障ではありません。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見えたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、すじ状に色のむらや明るさのむらが見えることもあります。
- 保管の際にはリモコンから電池を取り出しておいてください。
長期間電池を入れたままにしておく、液もれなどを起こす原因になります。
- レンズが汚れたり、キズがついたりするのを防ぐために、保管時には必ずレンズキャップを付けてください。
- 本機の光源に使用している水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になったりして、寿命にいたりします。
このとき、ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に、かなり大きな差があります。これは、水銀ランプの特性によるものです。
万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- プロジェクターの故障、および不点灯により発生した損害について、定められたサービス範囲以外は免責とさせていただきます。

ランプ不点灯について

本機の光源に使用している水銀ランプは、まれに不点灯状態になることがあります。これは、水銀ランプの特性によるものです。万一、本機の電源を入れてもランプが点灯しない場合は、いったんランプを取り出してランプが割れていないか確認してください。ランプが割れていない場合は、ランプをセットし直します。ランプの取り外し、セット方法は本書44ページの「ランプの交換方法」をご覧ください。
ランプが割れていた場合は、新しいランプと交換してください。万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。

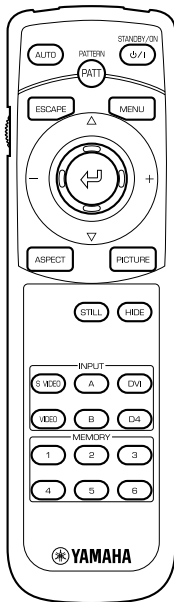
本機を持ち運ぶ際のご注意

- 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
またすべての配線ははずした状態であることを確認してください。
- レンズにレンズキャップを取り付けてください。
- フット部を収納してください。

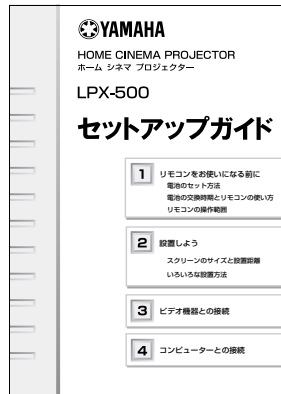
付属品

同梱されている付属品を確認してください。

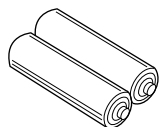
リモコン



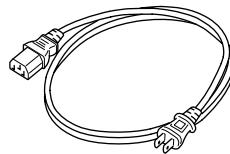
セットアップガイド



単三型乾電池 (LR6) × 2 本



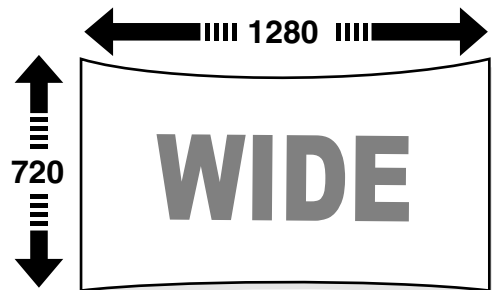
電源コード



本機の特長

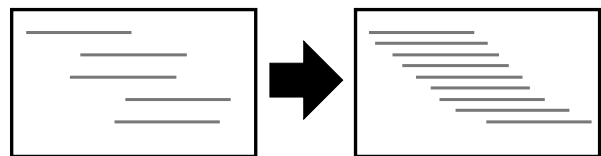
1280×720ドットのワイドパネルを採用

ハイビジョンの美しい映像も余すところなく再現します。



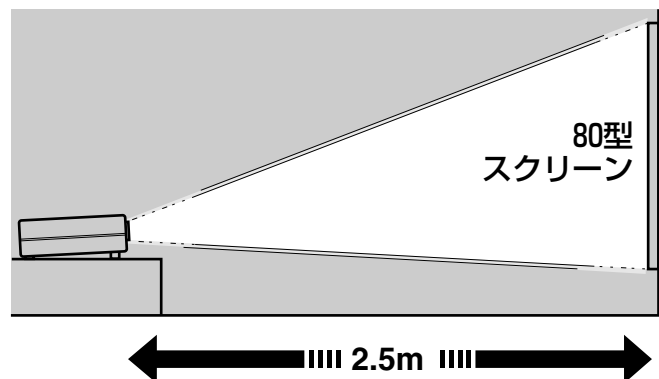
ファロージャが開発した、ビデオ専用高画質化回路DCDi™を搭載

従来のプログレッシブ変換で課題とされていたジャギーを大幅に削減できます。スムーズで自然な動きを体感してください。
☞p.27



2.5mの距離で80型のスクリーンに投写できる短焦点レンズを採用

お部屋で大画面を楽しみたいというニーズに応えます。これなら、6畳間で80型スクリーンへ投写することもできます。
☞『セットアップガイド』

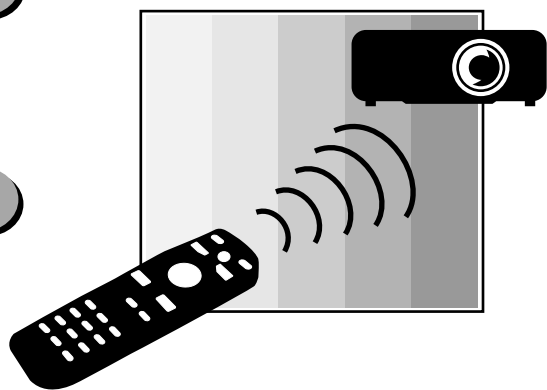


5つのピクチャーモードを搭載

あらかじめ登録されている5つの設定から、投写映像に応じて好みのモードを選択するだけで最適な映像を投写できます。☞p.13

豊富なカラー調整モードを搭載

RGB個別のバランス調整から、お手軽な色温度調整まで、お好みに合わせた調整ができます。調整した結果をメモリー登録しておけば、リモコンのメモリーボタンを押してワンタッチで呼び出すことができます。☞p.22, 23



基本的な操作

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れて投写しよう	6
• 電源ケーブルの接続	6
• 電源 ON、投写開始	7
電源を切り終了しよう	8
投写画面を調整しよう	10
• 投写サイズの微調整	10
• 投写角度の調整	10
• 台形にゆがむ場合の調整	11
• テストパターンを表示してみよう	12
画質を調整しよう	13
• ピントの調整（フォーカス調整）	13
• 映り具合を選ぶ（ピクチャーモード選択）	13
• 映像の縦横比の選択（アスペクト比の選択）	14
• ノーマルモード	14
• スクイーズモード	15
• ズームモード	15
• ズーム - 字幕 - モード	15
• スルー	16
• スクイーズスルー	16
• コンピューター映像の自動調整（オート調整）	16

電源を入れて投写しよう

電源を入れ、投写を行うまでの手順を説明します。

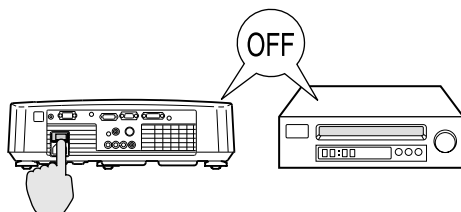


投写にあたっては、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、投写上の注意を確認してください。

電源ケーブルの接続

操作

1



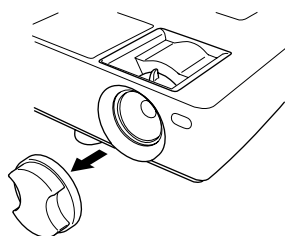
本機と本機に接続する、すべての機器の電源を切っていることを確認します。

2

本機とビデオ機器、またはコンピューターを接続します。

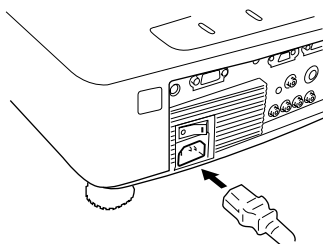
📖 「セットアップガイド」

3



レンズキャップを取り外します。

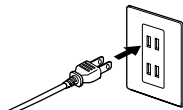
4



同梱の電源ケーブルを取り付けます。

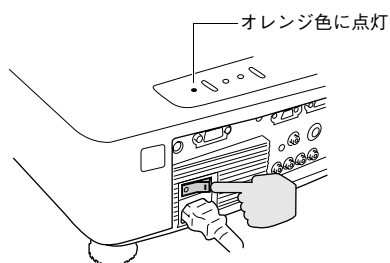
本機の電源端子と、電源ケーブルのコネクター形状の向きを合わせて、奥までしっかりと差し込みます。

5



電源プラグをコンセントに差し込みます。

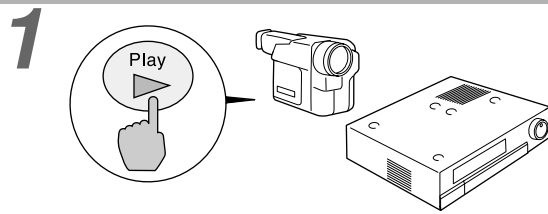
6



本体背面の主電源スイッチを ON にします。
🔴 / | インジケータがオレンジ色に点灯し
STANDBY 状態になるのを待ちます。

電源 ON、投写開始

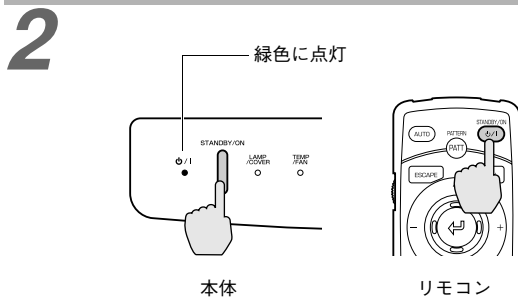
操作



本機に接続している機器の電源を入れます。

ビデオ機器の場合は、[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

本機の $\odot/|$ インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。



本体の[STANDBY/ON]ボタン、またはリモコンの[STANDBY/ON]ボタンを押して電源を入れます。

$\odot/|$ インジケータが緑色の点滅に変わり、しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。

$\odot/|$ インジケータが緑色の点灯に変わるのを確認します(約15秒かかります)。



$\odot/|$ インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。緑色の点灯に変わるまでお待ちください。

メニューの設定によっては、「入力信号がありません」と表示されます。☞ p.28

3 複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。

接続端子	選択するボタン		画面右上の表示*
	本体	リモコン	
INPUT A	[INPUT]	[A]	INPUT A (コンポーネント) または INPUT A (RGB)
INPUT B		[B]	INPUT B (コンポーネント) または INPUT B (RGB)
S VIDEO		[S VIDEO]	S Video
VIDEO		[VIDEO]	Video
D4 VIDEO		[D4]	D4 Video
DVI		[DVI]	DVI

*表示は信号出力後、約1秒で消えます。



- 接続機器が一台だけの場合は、入力切替のボタンを押さなくても投写されます。
- 各入力端子に別々の映像信号を同時に入力した場合、信号間の干渉により、ノイズが発生することがあります。このようなときには、使用していない映像機器側の電源を切るか、接続を外して利用してください。
- 「入力信号がありません」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。なお、接続機器からの信号が入力されるまでの間は、投写映像が何も表示されない状態になります。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。

下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピューターの取扱説明書の「外部出力のしかた」「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

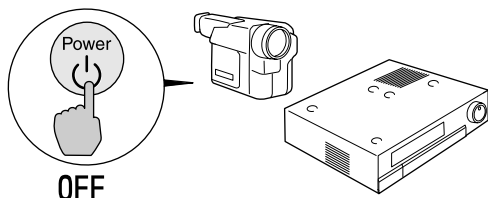
NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

1



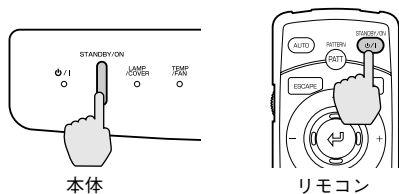
本機に接続している機器の電源を OFF にします。
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2

電源を切る場合はもう一度
[STANDBY/ON] キーを押してください

本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押します。
左記の確認メッセージが表示されます。
電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。
何も操作しないと、約7秒後に自動的にメッセージは消えます（電源は切れません。）。

3

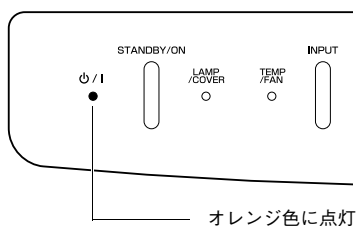


もう一度本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押します。
ランプが消灯し、 $\phi/|$ インジケータが赤色に点滅し、クールダウン▶▶が始まります。
約90秒たつと $\phi/|$ インジケータはオレンジ色の点滅に変わります。



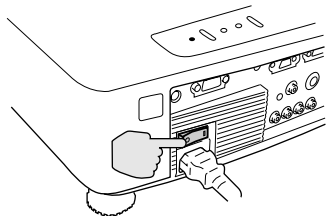
$\phi/|$ インジケータが赤色に点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。オレンジ色の点滅に変わるまでお待ちください。（約90秒後）

4



$\phi/|$ インジケータがオレンジ色の点灯に変わるのを確認します。
 $\phi/|$ インジケータがオレンジ色の点灯になれば、クールダウンが終了した印です。
クールダウンの時間は約5分です（外気温などによって変わります）。
本機は内部の熱を充分に排出するために、約5分という長めの冷却時間をもうけています。

5



本機を長時間、使用しない場合は、本体背面の主電源スイッチを OFF にします。

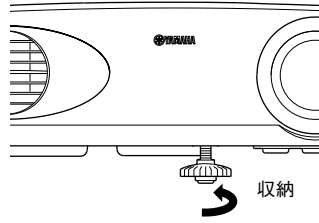


注意

投写中やクールダウン中は、本体背面の主電源スイッチを OFF にしないでください。万一、投写中などに主電源スイッチを OFF にした場合は、再び ON にするのは、ランプが十分冷えてから（約1時間必要）にしてください。ランプが冷えないうちに OFF/ON した場合は、ランプ点灯失敗のエラーが生じることがあります。

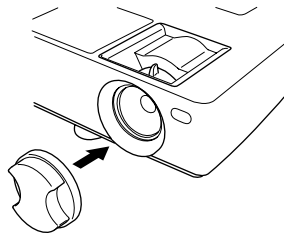
☞ ランプ点灯失敗 p. 32

6



フロントフットが出ているときは収納し
ます。
フロントフットを回して収納します。

7



レンズキャップを取り付けます。
レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐため
に、使用しないときはレンズキャップを取り付け
ます。

投写画面を調整しよう

投写画面の各種調整を行い、最適な投写状態にします。

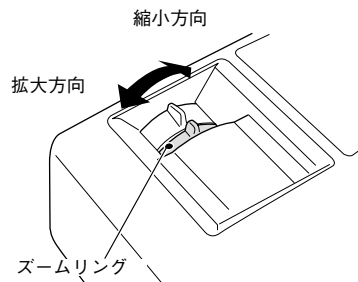
投写サイズの微調整

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。

☞ 『セットアップガイド』

ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

操作



本体のズームリングを回して調整します。

1.35倍まで拡大できます。

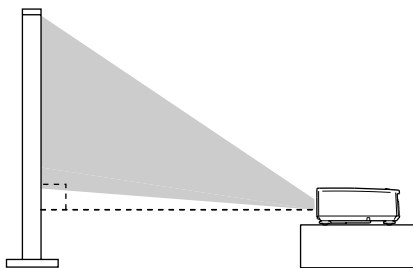
さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☞ 『セットアップガイド』

投写角度の調整

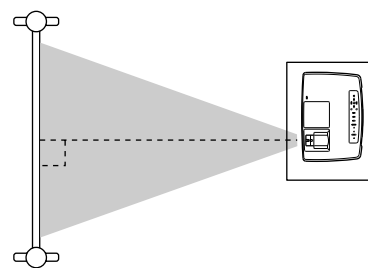
プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

スクリーンに直角に設置できない場合は、上下方向に傾けて設置できます。上方向に対してはフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度 12.9° までの範囲で投写角度を調整できます。

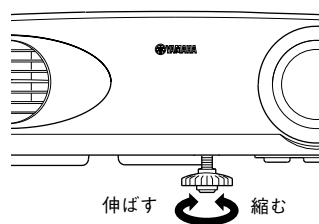
横から見たとき



上から見たとき



操作

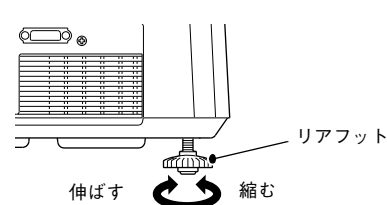
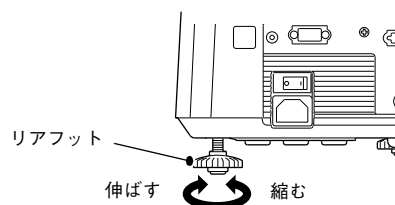


本体前部底面のフロントフットを回して調整します。

投写したい角度になるまで、フットを回します。

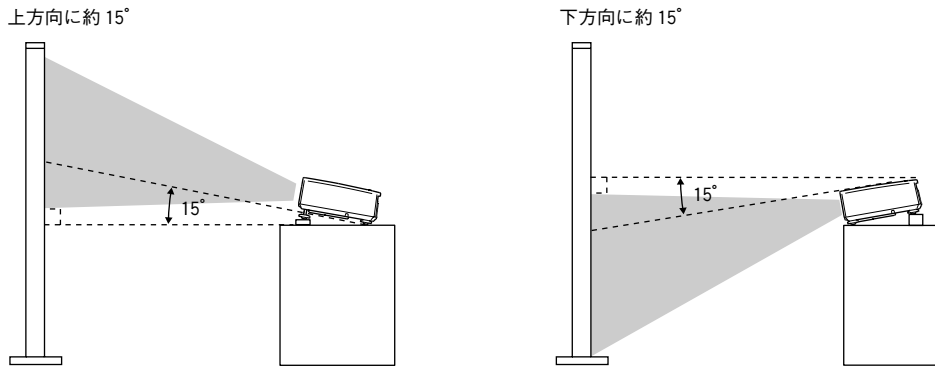


- フット調整をすると、画面が台形にゆがむことがあります。台形ゆがみは台形補正で調整できます。☞ p.11
- 本機が水平方向に傾いているときは、左右のリアフットを回して調整します。

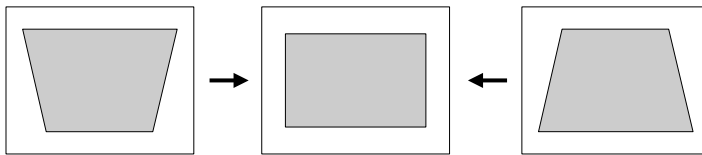


台形にゆがむ場合の調整

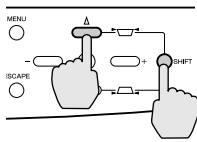
本機を傾けて設置すると、画面が台形にゆがむことがあります。
傾斜角度が、上下方向に約 15° までの範囲内であれば、台形補正機能で調整できます。



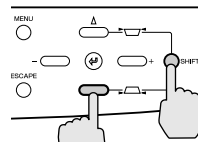
操作



本体の [SHIFT] ボタンを押したまま、△または▽ボタンを押して調整します。



本体



本体

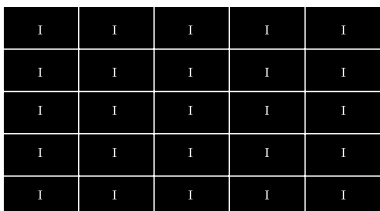


- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☞ p.25, 26
- 台形補正はメニューでも調整できます。☞ p.28
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量が限界に達したことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

テストパターンを表示してみよう

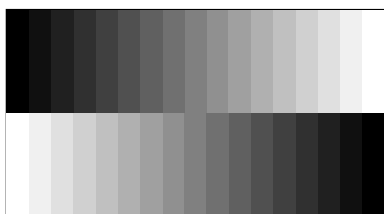
本機を設置するときなどに、テストパターンを投写すれば、ビデオ機器などを接続していない状態でもすぐに調整できます。テストパターンは次の2種類の表示を用意しています。

● クロスハッチ



フォーカス調整と台形補正を行う場合に使用します。

● グレースケールパターン







モノクロの色調をお好みの色味に調整するときを使用します。調整は、メニューの「画質」の「色温度▶」、 「肌色」、 「カラーバランス」で行います。

本体の [PATTERN] ボタン、またはリモコンの [PATTERN] ボタンを押すたびに、次の順でパターンの表示 / 解除が行われます。

クロスハッチ → グレースケールパターン → パターン解除



テストパターン表示中は、メニューのフルメニューは表示されません。設定が必要な場合は、本体の  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押してラインメニューを表示させ設定してください。

テストパターンを表示した状態で台形補正を行うには、本体の [SHIFT] ボタンを押したまま、本体の  または  ボタンを押して設定してください。リモコンでの設定はできません。

画質を調整しよう

フォーカス調整

アスペクト比の選択

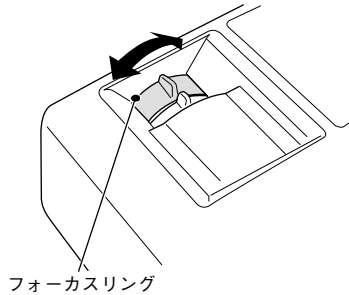
カラーモード選択

コンピューター映像の自動調整

映像の画質を調整します。

ピントの調整 (フォーカス調整)

操作



フォーカスリングを回してピントを調整します。



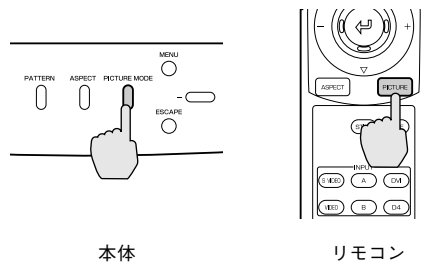
- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。
☞ p. 42
- スクリーンまでの設置距離が 0.9 ~ 13m の範囲を外れると、ピントは合いません。設置距離を確認してください。

映り具合を選ぶ (ピクチャーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の 5 種類の色設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	ガンマ▶▶	色温度▶▶	優先要素	使い方
A	オリジナル	6700K (調整可能)	色	自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。
B	オリジナル	6700K (調整可能)	色	映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。
C	オリジナル	6700K (調整可能)	色	メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。
PC	2.2 乗 (基本)	7500K (調整可能)	明るさ	コンピューター映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。
sRGB	2.2 乗 (基本)	6500K 固定	色	色の標準規格である sRGB▶▶ に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定して使用します。

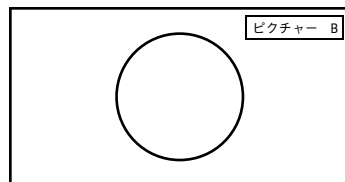
操作



本体の [PICTURE MODE] ボタン、またはリモコンの [PICTURE] ボタンを押すたびに、次の順でピクチャーモードが切り替わります。

A → B → C → PC → sRGB

モードを切り替えるたびに、現在の設定が表示されます。



メニューの「画質」-「ピクチャーモード」からも設定できます。☞ p. 25, 26

映像の縦横比の選択（アスペクト比の選択）

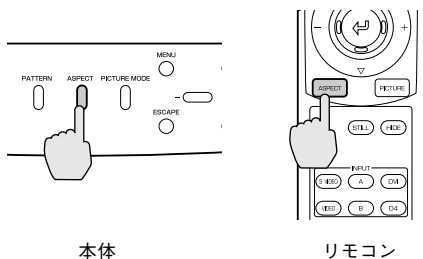
アスペクト比▶を、次の 5 種類の中から選んで投写できます。ただし、入力信号に応じて使用できるアスペクトモードが異なります。

入力信号	ノーマル	スクイーズ	ズーム	ズーム - 字幕 -	スルー	スクイーズ スルー
ビデオ (SDTV▶)	○	○	○	○	○	○
ビデオ (HDTV▶)	○	-	-	-	○ (720Pのみ)	-
コンピューター (SVGA▶以下)	○	-	○	-	○	-
コンピューター (XGA▶以上)	○	-	○	-	-	-



営利目的や、公衆に視聴させるためにホテルや店内外などでアスペクトモードを利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割して表示しないでください。著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

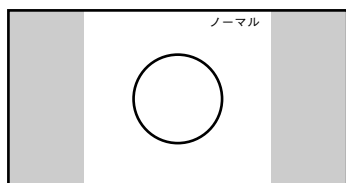
操作



本体の [ASPECT] ボタン、またはリモコンの [ASPECT] ボタンを押すたびに、ビデオ (SDTV) の場合には次の順でアスペクトモードが切り替わります。

ノーマル → スクイーズ → ズーム →
ズーム - 字幕 - → スルー → スクイーズスルー

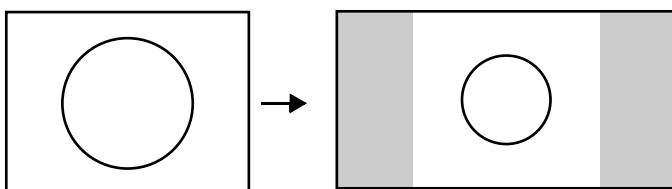
モードを切り替えるたびに、現在の設定が表示されます。



それぞれのモードの詳細は、次のとおりです。

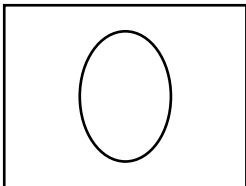
ノーマルモード

4 : 3 の映像

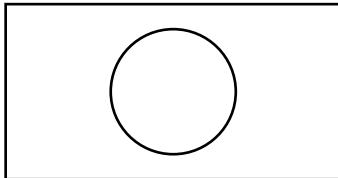


入力映像のアスペクトを保持したまま、16 : 9 のスクリーンに投写します。4 : 3 の映像を映した場合は、左図のように左右に黒い帯が残ります。

スクイーズモード

スクイーズモードの映像を
4:3テレビに映した場合

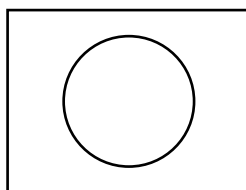
本機で映した場合



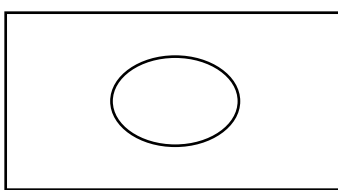
接続機器側に、16:9 出力モード（スクイーズモード）がある場合に使用します。

このモードの映像を4:3のテレビで見ると、水平方向に圧縮され縦長の映像になります。本機でスクイーズモードを選択すると、元の横長ワイド映像（16:9）に正しく再現して投写できます。

4:3出力の映像



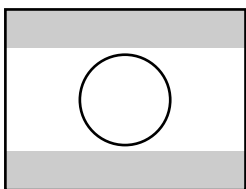
本機のスクイーズモードで映した場合



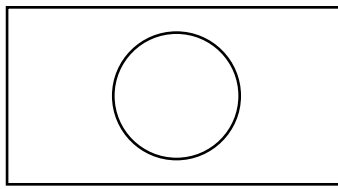
4:3 出力の映像を本機のスクイーズモードで投写すると水平方向に拡大され、横長の映像になります。

ズームモード

4:3の映像の上下をカット



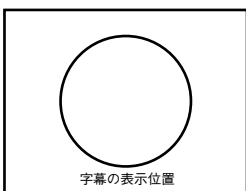
16:9にリサイズ



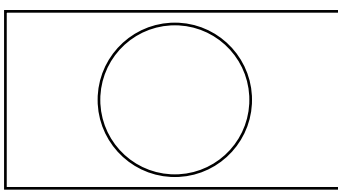
4:3 出力の映像を、上下を指定量だけカットして16:9にリサイズして投写します。

ズーム - 字幕 - モード

4:3出力の映像



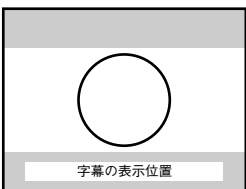
本機で映した場合



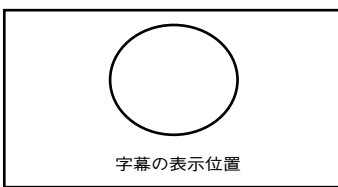
4:3 出力の字幕つき映像を、本機のズーム - 字幕 - モードで投写すると、垂直方向と水平方向に拡大され16:9にリサイズして投写します。

垂直方向に拡大されるため、字幕が投写範囲の外に表示されることがあります。

この場合は、メニューの「信号」 - 「字幕ズーム」 - 「垂直サイズ」、「垂直位置」で調整できます。☞ p.27

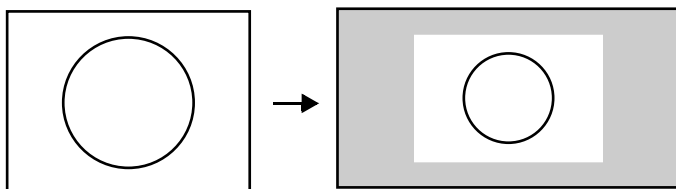


「字幕ズーム」で調整した場合



- 垂直サイズ
水平方向のサイズを変えずに、垂直方向の縮小率を調整します。
- 垂直位置
表示位置を上方向に移動します。

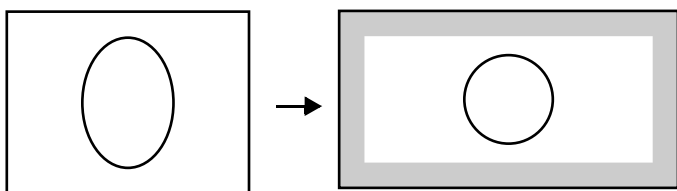
スルー



入力信号の解像度が1280×720ドット以下の場合、入力信号の解像度のままスクリーン中央に投写します。このため、入力した解像度によって、表示される大きさが変わります。

水平方向及び垂直方向にリサイズしない分、画質はきれいになります。

スクイーズスルー



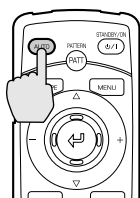
入力信号の解像度が1280×720ドット以下の場合、入力信号の解像度を水平方向のみに拡大して16:9のアスペクト比に変更して投写します。このため、入力される解像度によって、表示される大きさが変わります。

垂直方向にリサイズしない分、画質はきれいになります。

コンピューター映像の自動調整 (オート調整)

コンピューターの映像 (INPUT A (RGB)、INPUT B (RGB) のみ) を最適な状態に調整します。自動調整されるのは RGB 信号の、トラッキング▶▶、表示位置、同期 (Sync.)▶▶ の3項目です。

操作



リモコン

コンピューターの映像を投写中に、リモコンの [AUTO] ボタンを押します。

機能実行中、画面は黒色表示になります。



コンピューターが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。その場合は、メニューでトラッキングと同期をそれぞれ手動で調整してください。▶▶ p.26

お好みの画質に調整するための機能

この章では、代表的な画質調整機能とメニューについて説明しています。

代表的な画質調整機能	18
• メニューの操作方法	18
• フルメニューの呼び出しと操作	18
• ラインメニューの呼び出しと操作	20
• 機能の紹介	21
• 黒レベル調整	21
• 白レベル調整	21
• 色温度、肌色、カラーバランス調整	21
• お好みの画質を記憶/呼び出す (メモリー保存)	22
• お好みの画質を記憶する	22
• 記憶した画質を呼び出す	23
メニューの機能	24
• 「画質」メニュー	24
• ビデオ	24
• コンピューター	26
• 「信号」メニュー	27
• 「設定」メニュー	28
• 「情報」メニュー	29
• ビデオ	29
• コンピューター	30

代表的な画質調整機能

ここでは、画質を最適な状態に調整する次の代表的な各機能について説明します。

機能	概要	参照ページ
黒レベル調整	黒側の明るさを調整します。	p.21
白レベル調整	白側の明るさを調整します。	p.21
色温度、肌色、カラーバランス	白の色みをお好みの色に調整します。	p.21

メニューの操作方法

ここで紹介する機能は、本機のメニューで調整値を設定します。

メニューには、次の2種類があります。

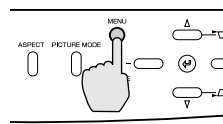
- フルメニュー：メニューの全項目が設定できるメニューです。
- ラインメニュー：メニューの中で最もよく使われる「画質」メニューの設定について、投写の状態を確認しながら設定できるメニューです。▶ p.20

フルメニューの呼び出しと操作

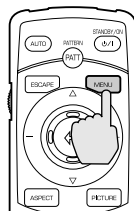
メニューは本体とリモコンの両方で操作できます。

操作

1



本体

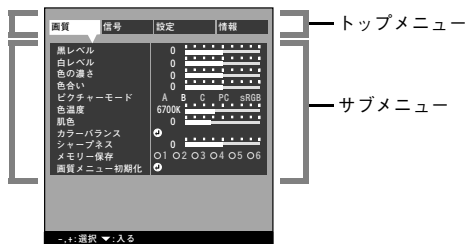


リモコン

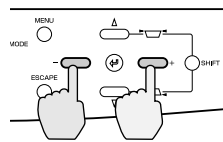
本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押します。

メニューが表示されます。

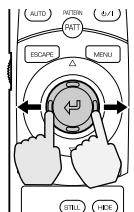
フルメニューはトップメニューとサブメニューで構成されています。現在、選択されているトップメニュー項目（白色の表示）のサブメニューが表示されます。



2



本体



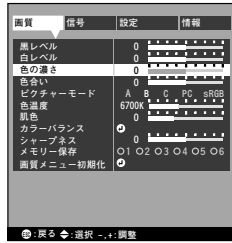
リモコン

トップメニューで設定を変更する項目を選択します。

本体の場合は、- または + ボタンを押します。

リモコンの場合は、(◀▶) ボタンを左右に傾けます。

3

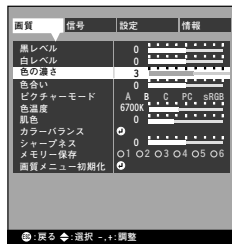


サブメニューで設定する項目を選択します。

本体の場合は、△または▽ボタンを押します。リモコンの場合は、Ⓜ ボタンを上下に傾けます。

「画質」メニューや「情報」メニューは、投写している入力信号によって表示される項目が異なります。

4



設定値を選択します。

本体の場合は、-または+ボタンを押します。

リモコンの場合は、Ⓜ ボタンを左右に傾けます。



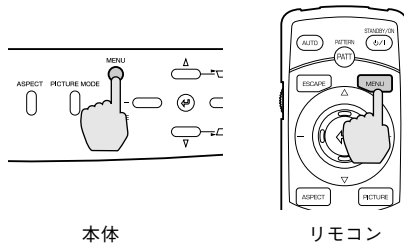
- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろにⓂ と表示されています。この場合は本体のⓂ ボタン、またはリモコンのⓂ ボタンを押して表示されたメニューで設定値を選択します。
- 各設定項目の詳細については機能一覧を参照してください。p.24

5

続いて他の項目も同様に設定します。

手順2～4と同様です。サブメニュー選択中に1つ前の階層に戻るには、本体の [ESCAPE] ボタン、またはリモコンの [ESCAPE] ボタンを押します。

6



メニューを終了します。

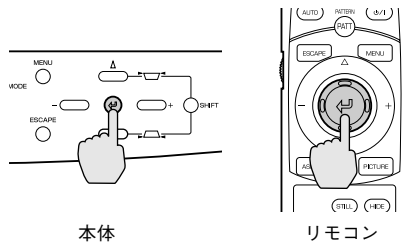
本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押します。

トップメニュー選択中は本体の [ESCAPE] ボタン、またはリモコンの [ESCAPE] ボタンを押してもメニューを終了できます。

ラインメニューの呼び出しと操作

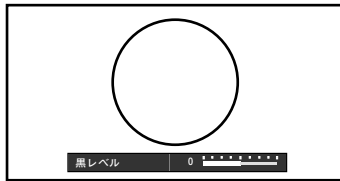
操作

1



本体

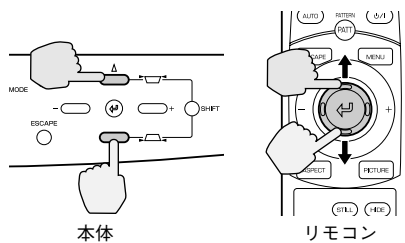
リモコン



フルメニューが表示されていない状態で、
本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押します。

ラインメニューが表示されます。

2



本体

リモコン

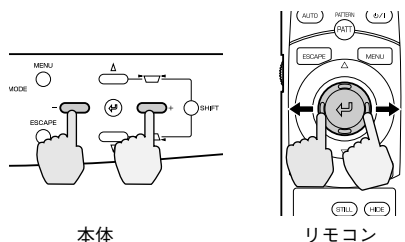
設定する項目を選択します。

本体の場合は、△ または ▽ ボタンを押します。

リモコンの場合は、[MENU] ボタンを上下に傾けます。

ラインメニューの内容が切り替わります。

3



本体

リモコン

設定値を選択します。

本体の場合は、← または → ボタンを押します。

リモコンの場合は、[MENU] ボタンを左右に傾けます。



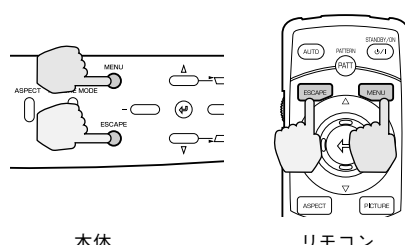
- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに (C) と表示されています。この場合は本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押して表示されたメニューで設定値を選択します。
- 各設定項目の詳細については機能一覧を参照してください。▶ p. 24

4

続いて他の項目も同様に設定します。

手順2～3と同様です。本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押して選択した下層サブメニュー表示中に1つ前の階層に戻るには、本体の [ESCAPE] ボタン、またはリモコンの [ESCAPE] ボタンを押します。

5



本体

リモコン

メニューを終了します。

本体の [MENU] ボタンか [ESCAPE] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンか [ESCAPE] ボタンを押します。



ラインメニュー表示中に5秒間ボタン操作を行わないと、ラインメニューは自動的に消去されます。

機能の紹介

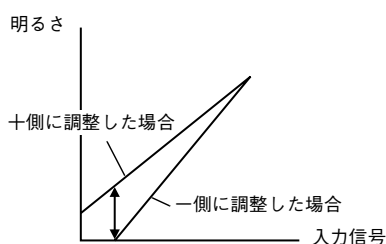
代表的な機能の詳細を説明します。

「黒レベル」や「白レベル」は入力信号に合わせて、つぶさないように調整します。色を調整するには「色温度」、「肌色」、「カラーバランス」をお使いください。

黒レベル調整

黒側の明るさを調整します。このとき、白側の明るさを変えないで調整できます。

メニューの「画質」-「黒レベル」で設定します。☞p.24, 26



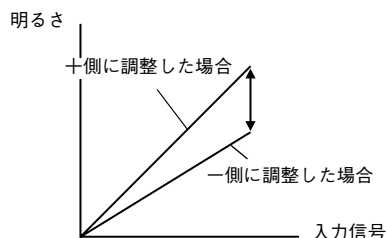
+側に設定すると、暗いシーンの輝度が上がり階調はハッキリしますが、コントラストは低下します。

-側に設定すると、黒側の明るさが沈み、コントラストのある映像になりますが、黒の階調が見えなくなります。

白レベル調整

白側の明るさを調整します。このとき、黒側の明るさを変えないで調整できます。

メニューの「画質」-「白レベル」で設定します。☞p.24, 26



+側に設定すると、白の明るさが上がりコントラストはハッキリしますが、白側の階調は見えなくなります。

-側に設定すると、白側の階調は見やすくなりますが、コントラストは低下します。

色温度、肌色、カラーバランス調整

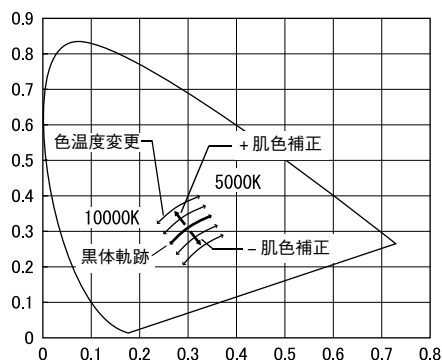
白の色みをお好みの色に調整します。

色温度▶で調整するモードと、肌色を調整するモードと、R、G、B個別に調整するモードがあります。

これらの調整は加算されますので、下図を参考にしまして「色温度」と「肌色」で基本調整を行い、次に「カラーバランス」で微調整を行います。

メニューの「画質」-「色温度」、「肌色」、「カラーバランス」で設定します。☞p.25, 26

色温度、肌色調整モード



- 色温度では、白色を赤みがかった色から、青みがかった色になるまで調整できます。色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。

- 肌色調整では、緑の成分比を調整します。-側にするほど、緑の成分が減って赤紫っぽくなります。+側にするほど、緑がかってきます。お好みの肌の色になるように調整できます。

好みの画質を記憶 / 呼び出す (メモリー保存)

メニューの「画質」と「信号」の調整値を、映像ソースごとに最大6個まで、6ソースで合計36個まで記憶できます。映像シーンに応じて、好みの調整値を記憶させておけば、リモコンのメモリーボタンを押しワンタッチで呼び出すことができます。☞ p.25,26

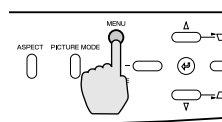
記憶できる調整値は次のとおりです。

- ・「画質」メニュー
 - ・ 黒レベル ・ 白レベル ・ 色の濃さ ・ 色合い ・ ピクチャーモード ・ 色温度 ・ 肌色
 - ・ カラーバランス ・ シャープネス
- ・「信号」メニュー
 - ・ IP 変換 ・ ノイズリダクション ・ セットアップレベル
- ・アスペクトの設定
 本体の [ASPECT] ボタン、またはリモコンの [ASPECT] ボタンで選択しているアスペクトモード

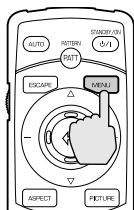
好みの画質を記憶する

操作

1



本体



リモコン

本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押します。

メニューを表示させ、記憶させる状態に調整値を設定します。

2



「画質」メニューのサブメニューから「メモリー保存」を選択します。

本体の場合は、△または▽ボタンを押します。

リモコンの場合は、Ⓜ ボタンを上下に傾けます。

3



設定値を記憶する番号 (1 ~ 6) を選択します。

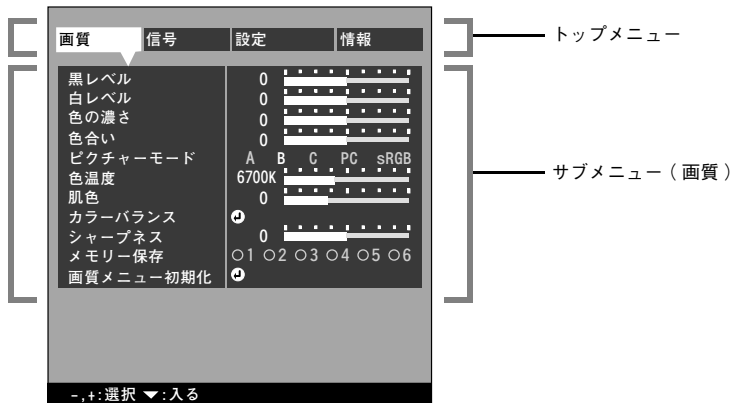
本体の+または+ボタンを押すか、またはリモコンのⓂ ボタンを左右に傾けます。

メニューの機能

メニューでは、各種調整や設定ができます。メニューには、フルメニューとラインメニューの 2 種類のメニューがあります。ここではメニューの全項目を設定できるフルメニューで説明します。

フルメニューは、トップメニューとサブメニューがあり、階層構造になっています。

各メニューの操作方法の詳細は「メニューの操作方法」(p.18)をご覧ください。



「画質」メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「画質」メニューの「色温度」、「肌色」、「カラーバランス」以外は調整できません。
- 「画質」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

ビデオ (INPUT A (コンポーネント)、INPUT B (コンポーネント)、D4 VIDEO、S VIDEO、VIDEO)

ビデオ (INPUT A (コンポーネント)、INPUT B (コンポーネント)、D4 VIDEO、S VIDEO、VIDEO)



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
画質	黒レベル	白レベルを変えずに、黒側の明るさだけを調整します。 (p.21)	0
	白レベル	黒レベルを変えずに、白側の明るさだけを調整します。 (p.21) お使いの VTR と再生するビデオテープの組み合わせによっては、VTR 出力信号レベルが高すぎて白レベルがクリップすることがあります。SECAM 信号の再生時にクリップした場面で色が紫色に変化します。この場合は、白レベルを少し下げてくださいとでクリップが解消され、紫色の変化が改善されます。	0
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	0
	色合い	(入力信号が NTSC、480i/p、576i/p、720p、1080i の場合だけ調整可能) 映像の色合いを調整します。	0

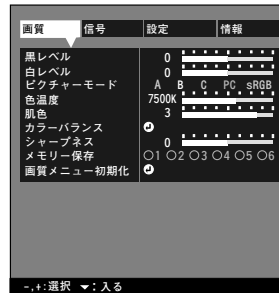
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
画質	ピクチャーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。 5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ● A : 自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。 ● B : 映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。 ● C : メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。 ● PC : コンピューター映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。 ● sRGB : 色の標準規格である sRGB 規格に準拠した映像にします。	B
	色温度▶	白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。☞ p.21 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。	6700K
	肌色	緑の成分比を調整できます。☞ p.21 一側に設定するほど赤紫色はくなり、+側にするほど緑がかった色調になります。肌の色をお好みに調整できます。	0
	カラーバランス	R, G, B それぞれについて、 <u>オフセット</u> ▶▶、 <u>ゲイン</u> ▶▶、 <u>ガンマ</u> ▶▶の調整ができます。 ☞ p.21 オフセットは暗い側、ゲインは明るい側の色み、ガンマは中間領域を調整します。それぞれの動きは、以下のようになります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>オフセット調整</p> <p>明るさ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゲイン調整</p> <p>明るさ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ガンマ調整</p> <p>明るさ</p> </div> </div> <p>RGB それぞれを調整することにより、暗い側、中間領域、明るい側の色づきをお好みに調整できます。</p>	オフセット R : 0 G : 0 B : 0 ゲイン R : 0 G : 0 B : 0 ガンマ R : 0 G : 0 B : 0
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	0
メモリー保存	映像調整値を登録しておき、リモコンの対応するボタンを押すことで、投写中の映像に登録しておいた設定値を反映させることができます。☞ p.22 ●登録エリアの番号を選択することにより、現在の設定値をその番号に登録します。 ●メモリーに登録した設定値は「全初期化」を実行することにより消去されます。	-	
画質メニュー初期化	「画質」メニューの調整値を初期設定値に戻します。ただし、メモリーで登録した内容は保持されます。 ●本体のⓂ ボタン、またはリモコンのⓂ ボタンを押して、表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●すべてのメニューの設定を初期設定値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☞ p.28	-	

コンピューター(DVI、INPUT A(RGB)、INPUT B(RGB))

RGB

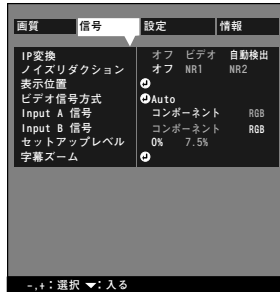


DVI



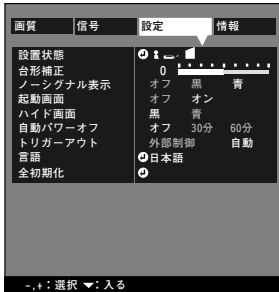
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
画質	黒レベル	白レベルを変えずに、黒側の明るさだけを調整します。☞ p.21	0
	白レベル	黒レベルを変えずに、白側の明るさだけを調整します。☞ p.21	0
	トラッキング▶▶	(INPUT A(RGB)、INPUT B(RGB)のみ) コンピューター映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	0
	同期▶▶	(INPUT A(RGB)、INPUT B(RGB)のみ) コンピューター映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。	0
	ピクチャーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。 5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ● A : 自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。 ● B : 映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。 ● C : メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。 ● PC : コンピューター映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。 ● sRGB : 色の標準規格である sRGB 規格に準拠した映像にします。	B
	色温度▶▶	白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。☞ p.21 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。	7500K
	肌色	緑の成分比を調整できます。☞ p.21 一側に設定するほど赤紫色はくくなり、+側にするほど緑がかかった色調になります。肌の色をお好みに調整できます。	3
	カラーバランス	R、G、Bそれぞれについて、 <u>オフセット</u> ▶▶、 <u>ゲイン</u> ▶▶、 <u>ガンマ</u> ▶▶の調整ができます。☞ p.21 オフセットは暗い側、ゲインは明るい側の色み、ガンマは中間領域を調整します。それぞれの動きは、以下のようになります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>オフセット調整</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゲイン調整</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ガンマ調整</p> </div> </div> <p>RGBそれぞれを調整することにより、暗い側、中間領域、明るい側の色づきをお好みに調整できます。</p>	オフセット R : 0 G : 0 B : 0 ゲイン R : 0 G : 0 B : 0 ガンマ R : 0 G : 0 B : 0
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	0
	メモリー保存	映像調整値を登録しておき、リモコンの対応するボタンを押すことで、投写中の映像に登録しておいた設定値を反映させることができます。☞ p.22 ●登録エリアの番号を選択することにより、現在の設定値をその番号に登録します。 ●メモリーに登録した設定値は「全初期化」を実行することにより消去されます。	-
	画質メニュー初期化	「画質」メニューの調整値を初期設定値に戻します。ただし、メモリーで登録した内容は保持されます。 ●本体の(Ⓜ)ボタン、またはリモコンの(Ⓜ)ボタンを押して、表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●すべてのメニューの設定を初期設定値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☞ p.28	-

「信号」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
信号	IP 変換	<p>(入力信号がコンポジット、Sビデオ、480i、576i 信号の場合だけ調整可能) お使いの VTR と再生するビデオテープの組み合わせによっては、投写している映像の色がちらついたり、正しい色が表示されないことがあります。この場合は、メニューの「IP 変換」をオフに設定すると改善されます。</p> <p>ファロー ज्याの インターレース → プログレッシブ (IP) 変換のモードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オフ : IP 変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。DCDi 機能は働きます。 ●ビデオ : フィルム判定機能を OFF にします。DCDi 機能は働いています。 ●自動検出 : 通常はこの設定で使用します。自動的に映画ソースかどうかを判断し、映画の場合は 3-2 プルダウン機能が働き、オリジナルとそん色のないフィルム映像を再現します。DCDi 機能は働いています。 	自動検出
	ノイズリダクション	<p>(入力信号がコンポジット、Sビデオ、480i、576i 信号の場合だけ調整可能) 映像のざらつきを抑え、画質をソフトにします。モードを 2 つ用意しています。お好みの設定をご覧ください。DVD など映像ソースにノイズが少ない場合は、「オフ」に設定してご覧になることをお勧めします。</p>	オフ
	表示位置	<p>(入力信号が DVI の場合は調整不可) 映像の表示位置を上下左右に移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の Ⓜ ボタン、またはリモコンの Ⓜ ボタンを押して、表示位置サブメニューを開き、△/▽/←/→ ボタンを押して、表示される表示位置調整画面で調整します。 	接続信号による
	ビデオ信号方式	<p>(入力信号がコンポジット、Sビデオ信号の場合だけ調整可能) お使いの VTR と再生するビデオテープの組み合わせによっては、「Auto」で信号を正しく認識できないため、映像が途切れたり正しい色が表示されないことがあります。その場合には設定を「Auto」から再生している信号フォーマットに合わせて設定してください。</p> <p>ビデオの信号方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の Ⓜ ボタン、またはリモコンの Ⓜ ボタンを押して、表示されたメニューから選択します。 ●「Auto」に設定すると、自動的にビデオ信号を設定しますが、PAL-N 方式の場合は Manual で設定してください。 	Auto
	INPUT A 信号	INPUT A への入力信号種別を選択します。	コンポーネント
	INPUT B 信号	INPUT B への入力信号種別を選択します。	RGB
	セットアップレベル	<p>(入力信号が NTSC、480i/p、576i/p、720p、1080i 信号の場合だけ調整可能) 国内製品を接続している場合、通常は変更する必要はありません。海外の製品など黒のレベル (セットアップレベル) が違う機器や、国内製品でも黒レベルの切替えがある機器を接続して、正しく映す場合に使用します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。</p>	0%
	字幕ズーム	<p>アスペクトモードで選択された「ズーム - 字幕」の映像の表示位置、および垂直方向の縮小率を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●垂直サイズ : 映像の水平方向のサイズを変えずに、垂直方向の縮小率を調整します。 ●垂直位置 : 映像の表示位置を上方向に移動します。 	垂直サイズ : 2 垂直位置 : 10

「設定」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
設定	設置状態	<p>本体およびスクリーンの設置状況に応じて選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 正面からの投写 ● : 正面から天吊り（裏返し）の状態で投写する ● : スクリーンの裏側からの投写 ● : スクリーンの裏側から天吊り（裏返し）の状態で投写する 	
	台形補正	<p>台形にゆがんだ画面を補正します。 p.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台形補正をすると画面が小さくなります。 ● 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ● 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 	0
	ノーシグナル表示	<p>映像信号が入力されていないときの画面の状態を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフ : 全黒画面 ● 黒 : 全黒画面にノーシグナルメッセージ ● 青 : 全青画面にノーシグナルメッセージ 	青
	起動画面	<p>起動画面の表示（YAMAHA のロゴ）の有効・無効の設定を行います。</p>	オン
	ハイド画面	<p>リモコンの [HIDE] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。画面の状態は「青」、「黒」の中から選択できます。</p>	黒
	自動パワーオフ	<p>[INPUT] ボタンで選択された接続機器の信号が切れた場合に、自動的に本機の電源を切りたいときに設定します。</p> <p>調整値の範囲：オフ、30分、60分</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時間を設定しておけば、接続する機器側にタイマーOFF 機能がある場合、タイマーが作動して入力信号が切れた後、指定した時間で本機の電源を切ります。夜間ご覧になっている途中で寝てしまっても安心です。 ● 自動パワーオフが作動し、スタンバイ状態になっていると、入力信号が再び入っても電源は入りません。本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押すと電源が入ります。 	オフ
	トリガーアウト	<p>外部機器制御用の信号出力です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投写時に +12V の電圧が出力されます。 ● 「自動」選択時は、プロジェクターのランプ点灯に同期してトリガーアウトがオン/オフされ、「外部制御」選択時は、RS-232C 端子からの制御によりトリガーアウトがオン/オフされます。 	自動
	言語	<p>メッセージやメニューの表記言語を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体の ボタン、またはリモコンの ボタンを押して、表示される言語の選択メニューから選択します。 	日本語
	全初期化	<p>メニューの全項目を初期設定値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体の ボタン、またはリモコンの ボタンを押して、表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 「画質」メニューの設定を初期設定値に戻すときは、サブメニューで「初期化」を実行してください。 <p>ランプ点灯時間、言語の設定は初期設定値に戻りません。</p>	-

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している映像ソースの設定状態やランプの状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

ビデオ (INPUT A (コンポーネント)、INPUT B (コンポーネント)、D4 VIDEO、S VIDEO、VIDEO)

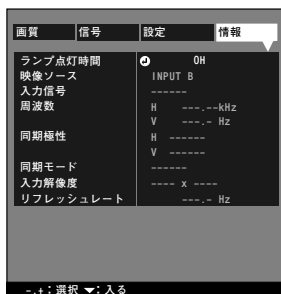
ビデオ (INPUT A (コンポーネント)、INPUT B (コンポーネント)、D4 VIDEO、S VIDEO、VIDEO)



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積点灯時間を表示します。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。 ● 本体の (M) ボタン、またはリモコンの (M) ボタンを押すと、ランプ時間初期化のメニューが表示されます。 ● ランプを交換したときに、ランプ時間の初期化を行います。実行すると、ランプの累積点灯時間が初期設定値にクリアされます。	0H
	映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	接続信号による
	入力信号	ビデオの信号方式を表示します。	Auto

コンピューター (DVI、INPUT A (RGB)、INPUT B (RGB))

コンピューター (DVI、INPUT A (RGB)、INPUT B (RGB))



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積点灯時間を表示します。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。 ●本体の (M) ボタン、またはリモコンの (M) ボタンを押すと、ランプ時間初期化のメニューが表示されます。 ●ランプを交換したときに、ランプ時間の初期化を行います。実行すると、ランプの累積点灯時間が初期設定値にクリアされます。	0H
	映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	接続信号による
	入力信号	入力信号の設定を表示します。	-
	周波数	水平及び垂直走査周波数を表示します。	-
	同期極性	同期▶▶の極性を表示します。	-
	同期モード	同期の属性を表示します。	-
	入力解像度	入力解像度を表示します。	-
	リフレッシュレート▶▶	リフレッシュレートを表示します。	-

困ったときに

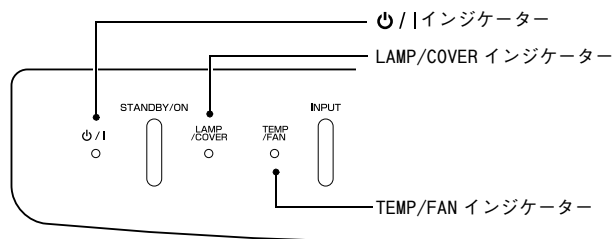
ここでは、トラブルの解決法について説明しています。

故障かなと思ったら	32
インジケーターを見てもわからないとき	34

故障かなと思ったら

故障かな?と思ったら、まず本体のインジケーターをご覧ください。

本機には、次の3種類のインジケーターがあり本機の状態を知らせています。




インジケーターの状態とその対処方法については、以下の表を参照してください。

● : 点灯 ※ : 点滅 ○ : 消灯

インジケーターの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● 赤 ● 赤 ● 電源 LAMP/COVER TEMP/FAN	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● 赤 ○ 赤 ● 電源 LAMP/COVER TEMP/FAN	ファン異常 / センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● 赤 ● 赤 ○ 電源 LAMP/COVER TEMP/FAN	ランプ異常 / ランプ蓋異常	新しいランプと交換してください。 ランプの交換を行った場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。	p. 44
赤 ● 赤 ● 赤 ○ 電源 LAMP/COVER TEMP/FAN	ランプ点灯失敗	前回、終了時にクールダウン▶▶が完全に終わらないうちに主電源スイッチを切って1時間以内に再び主電源スイッチをONにした場合は、この状態になることがあります。 約2分間は、そのままの状態でお待ちください。約2分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら本体背面の主電源スイッチをOFFにして、再びONにします。主電源スイッチを入れ直すと、状態が復帰しますので本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押して電源を入れ直します。電源を入れ直したときに繰り返しランプ点灯失敗状態になった場合は、ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認し、割れていなければセットし直します。 その後、本体背面の主電源スイッチをONにして、本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押します。それでもインジケーターが異常を示したときは、ご使用をやめ、主電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	p. 44
赤 ● 赤 ○ 赤 ● 電源 LAMP/COVER TEMP/FAN	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態でお待ちください。約5分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら本体背面の主電源スイッチをOFFにして、再びONにします。 オーバーヒートした場合は、次の2点を確認して改善します。 ●通気の良い場所に設置していますか。 吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ●エアフィルターにホコリが溜まっていませんか。 エアフィルターが汚れている場合は、掃除をしてください。 主電源スイッチを入れ直すと、状態が復帰しますので本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケーターが異常を示したときは、ご使用をやめ、主電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	『セットアップガイド』 p. 42

インジケータ の状態	状態	原因と処置	参照 ページ
オレンジ LAMP /COVER ○ TEMP /FAN ●	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。) ●吸気口・排気口をふさがないように、通気性の良い場所に設置してください。 ●エアフィルターの掃除をしてください。 ※ ○/ インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。	『セットアップ ガイド』 p.42
オレンジ LAMP /COVER ● TEMP /FAN ○	ランプの交換時期が近い	(異常ではありません。) 新しいランプの用意をしてください。 使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。 ※ ○/ インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。	p.43
オレンジ ○/ LAMP /COVER ● TEMP /FAN ○	スタンバイ状態	(異常ではありません。) 本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押すと投写を開始します。	p.6
緑 ○/ LAMP /COVER ● TEMP /FAN ○	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。緑色の点滅が点灯に変わります。	p.7
緑 ○/ LAMP /COVER ● TEMP /FAN ○	投写中	(異常ではありません。)	p.7
赤 / オレンジ ○/ LAMP /COVER ● TEMP /FAN ○	クールダウン中	(異常ではありません。) ●そのまましばらくお待ちください。 クールダウン▶(ランプを冷やす動作)の時間は約5分です。この時間は、外気温などによって変わります。 ● ○/ インジケータが赤色の点滅中は、本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンは操作できません。オレンジ色の点滅に変わる(約90秒後)と、本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンの操作が有効となります。 ●クールダウン中に本体背面の主電源スイッチを OFF にした場合は、ランプが十分に冷えてから(約1時間必要)、再び主電源スイッチを ON にしてください。	p.8




- インジケータは異常を示していないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

困ったときに

インジケータを見てわからないとき

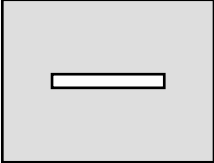
次のような現象でインジケータを見てわからないときは、各項目を参照してください。

映像が写らない	☞ p.34,35	映像が暗い	☞ p.38
映像が汚い	☞ p.36	映像が緑色で表示される	☞ p.38
映像が切れる（大きい/小さい）	☞ p.37	リモコンで操作できない	☞ p.38
映像の色が悪い	☞ p.37	終了しない	☞ p.39

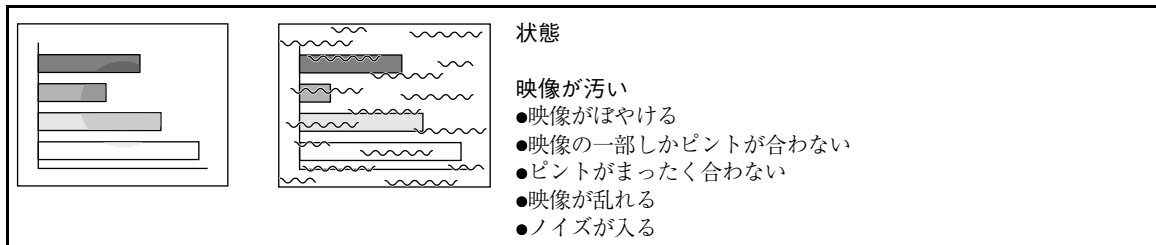
	<p>状態</p> <p>映像が写らない（何も表示されない）</p>
---	------------------------------------

考えられる原因	対処方法
レンズキャップが付いたままではありませんか？	→ レンズキャップを外します。☞ p.6
電源ケーブルが外れていませんか？	→ 本機の電源端子あるいはコンセントとの接続を確認してください。☞ p.6
主電源スイッチが入っていますか？	→ 本体背面の主電源スイッチをONにしてください。☞ p.6
電源をOFFにした後で、すぐONにしませんでしたか？ <small>⏻ / インジケータが赤色の点滅中（クールダウン中）は、本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンの操作はできません。</small>	→ オレンジ色の点滅に変わってから本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンの操作が有効となります。☞ p.8
本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押しましたか？	→ 本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押します。☞ p.7
自動パワーオフを設定していませんか？ <small>自動パワーオフの時間を設定した場合、映像信号が入らない状態で指定した時間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき⏻ / インジケータがオレンジ色に点灯します。</small>	→ 本機の電源を入れ直してください。自動パワーオフ設定を解除する場合は、メニューの「設定」-「自動パワーオフ」を「オフ」にしてください。 <small>☞ 「設定」-「自動パワーオフ」p.28</small>
ハイド画面になっていませんか？	→ リモコンの [HIDE] ボタンを押してハイド機能を解除します。☞ 「設定」-「ハイド画面」p.28
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ <small>スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。</small>	→ スクリーンセーバーを解除したり、入力している映像を一度確認してください。
映像信号が入力されていますか？ <small>メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「オフ」に設定しているときは、メッセージが表示されません。</small>	→ 「ノーシグナル表示」で黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。 <small>☞ 「設定」-「ノーシグナル表示」p.28</small> <small>メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。</small>
全初期化してみてください。	→ ☞ 「全初期化」p.28

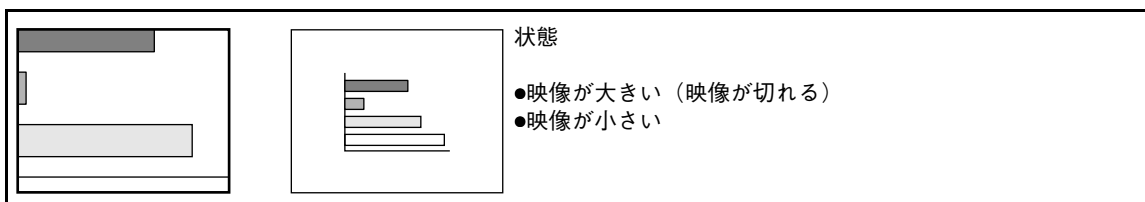


	<p>状態</p> <p>映像が写らない (メッセージが出る) 「この信号は受けられません」 「入力信号がありません」</p>
---	---

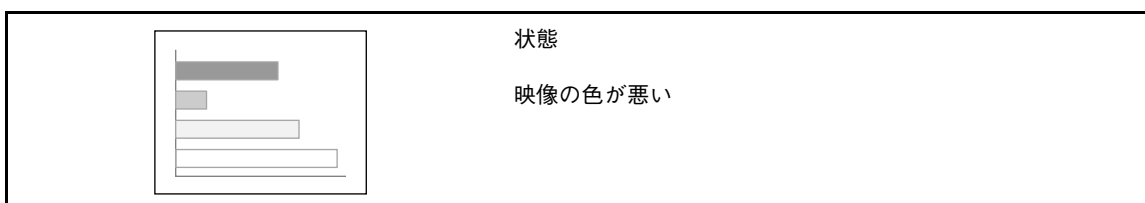
考えられる原因	対処方法
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	→ メニューの「信号」-「ビデオ信号方式」、または「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」で接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☞ 「信号」-「ビデオ信号方式」、「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」p.27
接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？	→ 本体の [INPUT] (リモコンの場合は [D4]、[DVI]、[A]、[B]、[VIDEO]、[S VIDEO] の各ソース) ボタンを押し、映像を切り替えてください。☞ p.7
接続しているビデオ機器またはコンピューターの電源は入っていますか？	→ 電源を入れます。☞ p.7
コンピューターから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。	→ コンピューターから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。☞ p.48
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピューターのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。	→ 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピューターの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニターへ出力のしかた」などを参照してください。☞ p.7



考えられる原因	対処方法
ピントは正しく調整されていますか？	→ ピント調整を行います。☞ p. 13
限界を越えて投写角度を付けて設置していませんか？ 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。	→ 投写角度を変更します。☞ p. 10
投写距離は最適ですか？	→ 投写距離の推奨範囲は、0.91m～13.01mです。この範囲で設置してください。☞ 『セットアップガイド』
投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？	→ 投写角度を調整し、投写光がスクリーンに対して直角になるようにします。☞ p. 10
レンズが汚れていませんか？	→ レンズを掃除します。☞ p. 42
レンズが結露していませんか？ 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。	→ 電源を切ってしばらく放置してください。
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	→ メニューの「信号」-「ビデオ信号方式」、または「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」で接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☞ 「信号」-「ビデオ信号方式」、「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」p. 27
ケーブルは正しく接続されていますか？	→ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ 『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？ ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。	→ 同梱のケーブルを使用するか、増幅機器などを接続して確認してください。
「同期」・「トラッキング」・「表示位置」は正しく調整されていますか？ (コンピューターと接続している場合)	→ リモコンの[AUTO] ボタンを押して調整します。メニューで調整することもできます。 ☞ p. 16, 「画質」-「トラッキング」、「同期」p. 26
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューターと接続している場合)	→ 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。信号の変更はコンピューターの取扱説明書などで確認してください。☞ p. 48

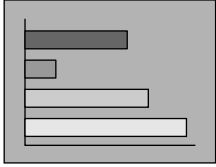


考えられる原因	対処方法
表示モード（アスペクト比▶▶）が正しく選択されていない可能性があります。	→ 本体の [ASPECT] ボタン、またはリモコンの [ASPECT] ボタンを押してください。☞ p.14
「表示位置」は正しく調整されていますか？	→ メニューの「信号」-「表示位置」で調整してください。☞ p.27
解像度の選択は正しいですか？	→ 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。信号の変更はコンピューターの取扱説明書などで確認してください。☞ p.48
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピューターの解像度を変更してください。	→ 画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。☞ p.7
デュアルディスプレイの設定をしていますか？	→ コンピューターのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピューター画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピューター画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピューターに組み込んであるビデオドライバーのマニュアルをご覧ください。

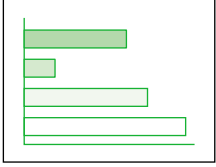


考えられる原因	対処方法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	→ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ 『セットアップガイド』
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	→ メニューの「白レベル」でコントラストを調整してください。☞ 「画質」-「白レベル」p.24,26
色温度、肌色、カラーバランスは正しく設定されていますか？	→ メニューで色を調整してください。☞ 「画質」-「色温度」、「肌色」、「カラーバランス」p.25,26
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)	→ メニューで色の濃淡、色合いを設定してください。☞ 「画質」-「色の濃さ」、「色合い」p.24
ランプの交換時期ではありませんか？ LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいていることを知らせています。ランプの交換時期が近づくと、映像が暗くなったり色合いが悪くなります。	→ 新しいランプと交換してください。☞ p.43,44
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	→ メニューの「信号」-「ビデオ信号方式」、または「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」で接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。☞ 「信号」-「ビデオ信号方式」、「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」p.27


困ったときに

	<p>状態</p> <p>映像が暗い</p>
---	------------------------

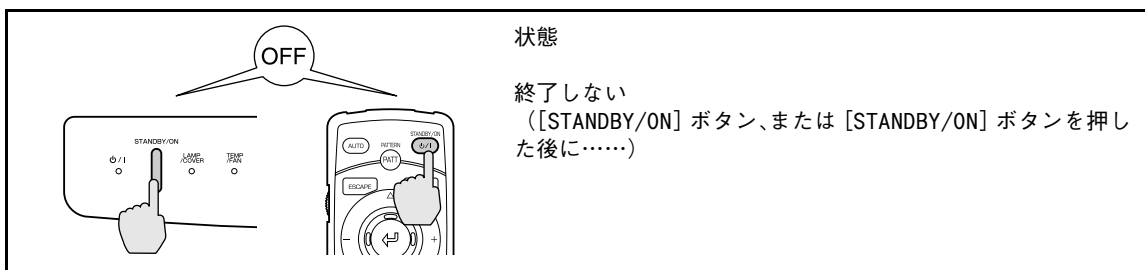
考えられる原因	対処方法
<p>ランプの交換時期ではありませんか？ LAMP/COVER インジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいていることを知らせています。ランプの交換時期が近づくと、映像が暗くなったり色合いが悪くなります。</p>	<p>→ 新しいランプと交換してください。☞ p.43,44</p>

	<p>状態</p> <p>映像が緑色で表示される</p>
---	------------------------------

考えられる原因	対処方法
<p>コンポーネント映像▶の入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？ 「コンポーネント」と「RGB」をまちがえて設定していると緑色で表示されることがあります。</p>	<p>→ メニューの「信号」-「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」で接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☞ 「信号」-「INPUT A 信号」、「INPUT B 信号」p.27</p>

	<p>状態</p> <p>リモコンで操作できない</p>
---	------------------------------

考えられる原因	対処方法
正しい角度でリモコンを操作していますか？	→ 操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 30° です。この範囲内で操作してください。☞ 『セットアップガイド』
プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？	→ 操作可能距離は、約 7m です。この距離内で操作してください。☞ 『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	→ 強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。
乾電池は入っていますか？	→ 乾電池をセットします。☞ 『セットアップガイド』
乾電池が消耗していませんか？	→ 新しい乾電池と交換してください。 ☞ 『セットアップガイド』
乾電池が逆にセットされていませんか？	→ 乾電池を正しい方向にセットし直してください。 ☞ 『セットアップガイド』



状態

終了しない
 ([STANDBY/ON] ボタン、または [STANDBY/ON] ボタンを押した後に……)

考えられる原因	対処方法
<p>⏻/⏻インジケータがオレンジに点灯したままになっていませんか？ 本機は電源を切っても⏻/⏻インジケータは消灯しない構造になっています。</p>	<p>→ 本体背面の主電源スイッチを OFF にすると、⏻/⏻インジケータは消灯します。</p>
<p>ファンが働いていませんか？ 本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押して電源を切った後、<u>クールダウン</u>▶▶を行います。</p>	<p>→ クールダウンの後、⏻/⏻インジケータがオレンジ色で点灯しますので、主電源スイッチを OFF にしてください。 ※クールダウンの時間は、約5分です。この時間は外気温などによって変わります。</p>

付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法	42
• 各部の掃除.....	42
・ 本体の掃除	42
・ レンズの掃除	42
・ エアーフィルターの掃除.....	42
• 消耗品の交換	43
・ ランプの交換時期.....	43
・ ランプの交換方法.....	44
・ ランプ点灯時間の初期化.....	45
・ エアーフィルターの交換方法.....	46
オプション品一覧	47
対応解像度一覧	48
• コンポーネント映像入力.....	48
• コンポジット映像 /S ビデオ入力	48
• RGB 入力	49
仕様一覧	50
外形寸法図	51
各部の名称と働き	52
• 前面／上面.....	52
• 本体操作パネル	53
• 背面.....	54
• 底面.....	54
• リモコン.....	55
用語解説	56
索引	58

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。



掃除にあたっては、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

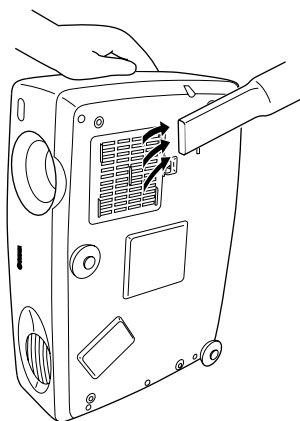


レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルターの掃除

エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアフィルターのごみが中に入らないように、必ず本機を立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



- エアフィルターの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期です。販売店にご相談ください。
- 交換用ランプには、交換用エアフィルターが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

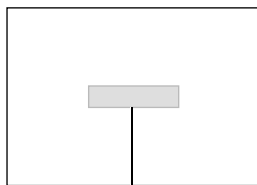
消耗品の交換

ランプとエアフィルターとの交換方法について説明します。

ランプの交換時期

次の場合はランプを交換してください。

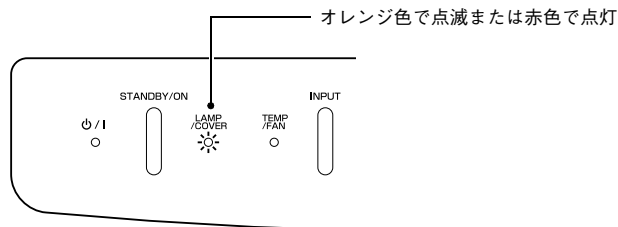
- 投写を開始したときに、「ランプを交換してください」とメッセージが表示されたとき



メッセージが表示されます

メッセージは 30 秒間表示されます。
30 秒過ぎると、メッセージが解除されます。

- LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色で点滅、または赤色で点灯したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 初期の明るさや画質を維持するため、メッセージが表示されたら、なるべく早めにランプを交換してください。
- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約2900時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は約 2900 時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、2900 時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプを準備しておくことをお勧めします。
- ランプ交換のメッセージが表示された場合は、「起動画面」の設定をオンにしてもユーザーロゴは表示されません。
- 交換用ランプはお買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

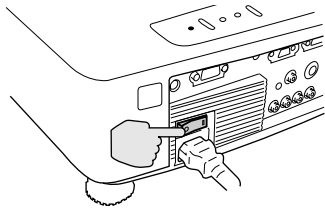
ランプの交換方法



- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、天吊りユニットから外して交換してください。どうしても天吊りのまま交換する場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそと取り外してください。また、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるにはクールダウン▶▶後、約30分間が必要です。

操作

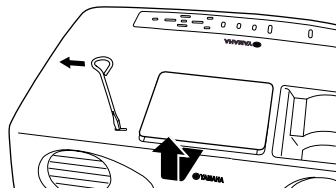
1



本体背面の主電源スイッチをOFFにします。

▶▶ p.8

2

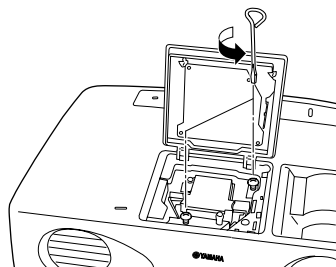


ランプが十分冷えてからランプカバーを開きます。

ランプが十分冷えるにはクールダウン後、約30分間が必要です。

ランプカバー開スイッチを交換用ランプに付属のドライバーでスライドさせると、ランプカバーが浮き上がります。浮き上がった部分に指をかけて本機正面側にスライドさせ、カバーを開きます。

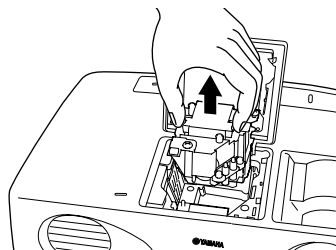
3



ランプ固定ねじ2本をゆるめます。

ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに付属のドライバーでゆるめます。

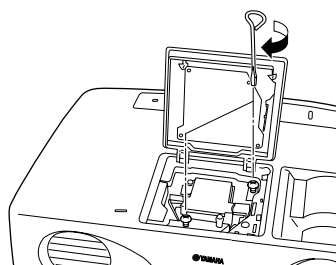
4



ランプを引き出します。

ランプの上面部分のくぼみを指ではさんで持ち上げ、ランプを引き出します。

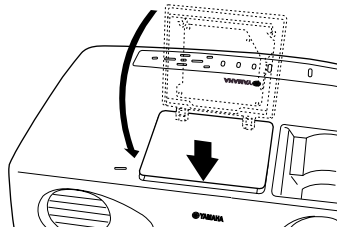
5



新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、確実に押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

6



ランプカバーを取り付けます。

ランプカバーを閉じて、本機背面側にスライドさせ、本機正面側をカチッと音がするまで押し込みます。



- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを開けると自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアフィルターが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。
- 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

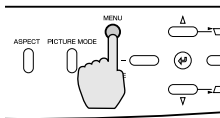
本機にはランプ点灯時間のカウンターが内蔵されており、カウンターの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、メニューでランプ点灯時間のカウンターを初期化する必要があります。



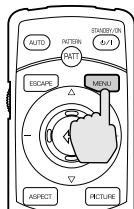
ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1



本体



リモコン

本体の [MENU] ボタン、またはリモコンの [MENU] ボタンを押します。

メニューが表示されます。

2

ランプ点灯時間	Ⓞ	0H
映像ソース		
入力信号		

「情報」-「ランプ点灯時間」の項目を選択します。

本体の Ⓞ ボタン、またはリモコンの Ⓞ ボタンを押します。

3

ランプ時間初期化	実行しますか？
	いいえ
	はい

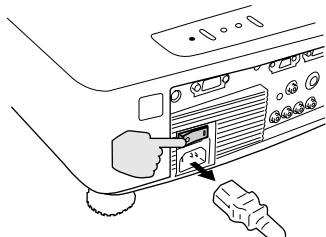
ランプ点灯時間を初期化します。

「はい」を選択し、本体の Ⓞ ボタン、またはリモコンの Ⓞ ボタンを押します。

エアフィルターの交換方法

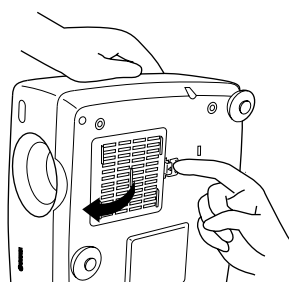
操作

1



本体背面の電源スイッチを OFF にしてから、電源ケーブルを外します。☞ p. 8

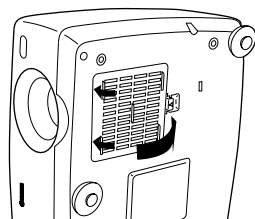
2



エアフィルターのフック部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアフィルターを外します。

エアフィルターのごみが中に入らないよう必ず本機を立てたまま作業してください。

3



新しいエアフィルターをセットします。

つめの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2002年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

交換用ランプ 使用済みランプと交換します。	PJL-5015
天吊金具（低天井用）※ 本機を低天井に取り付けるときに使用します。	PMT-L21
天吊金具（高天井用）※ 本機を高天井に取り付けるときに使用します。	PMT-H25

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

対応解像度一覧

コンポーネント映像入力

単位：ドット

信号	解像度	表示モード					
		ノーマル (初期状態)	スクイーズ	ズーム	ズーム - 字幕 -	スルー	スクイーズ スルー
SDTV▶▶ (480i, 60Hz) (スーム時)	640 × 480 (640 × 360) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	590 × 442 (4:3 アスペクト)	786 × 442 (16:9 アスペクト)
SDTV (576i, 50Hz) (スーム時)	768 × 576 (768 × 432) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	700 × 525 (4:3 アスペクト)	934 × 525 (16:9 アスペクト)
SDTV(480p)	640 × 480 (640 × 360) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	590 × 442 (4:3 アスペクト)	786 × 442 (16:9 アスペクト)
SDTV (576p) (スーム時)	768 × 576 (768 × 432) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	700 × 525 (4:3 アスペクト)	934 × 525 (16:9 アスペクト)
HDTV▶▶ (720p)16:9	1280 × 720	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	-	-	-	1178 × 664 (16:9 アスペクト)	-
HDTV (1080i)16:9	1920 × 1080	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	-	-	-	-	-

コンポジット映像 / Sビデオ入力

単位：ドット

信号	解像度	表示モード					
		ノーマル (初期状態)	スクイーズ	ズーム	ズーム - 字幕 -	スルー	スクイーズ スルー
TV(NTSC)	640 × 480 (640 × 360) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	590 × 442 (4:3 アスペクト)	786 × 442 (16:9 アスペクト)
TV (PAL, SECAM) (スーム時)	768 × 576 (768 × 432) (スーム時)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	700 × 525 (4:3 アスペクト)	934 × 525 (16:9 アスペクト)

RGB 入力

単位：ドット

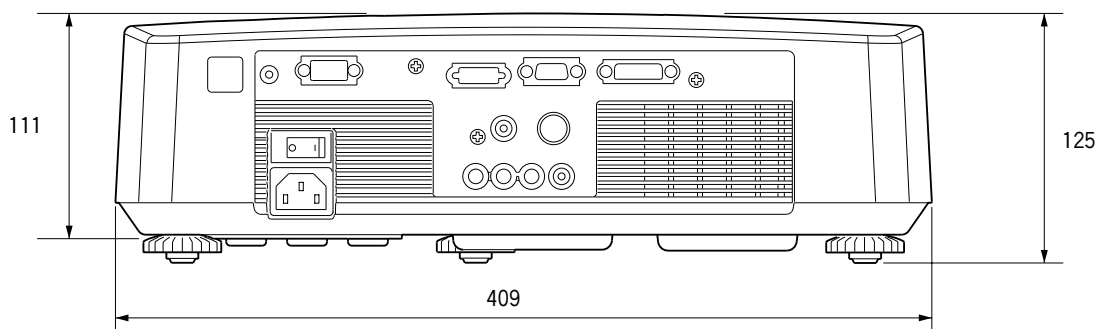
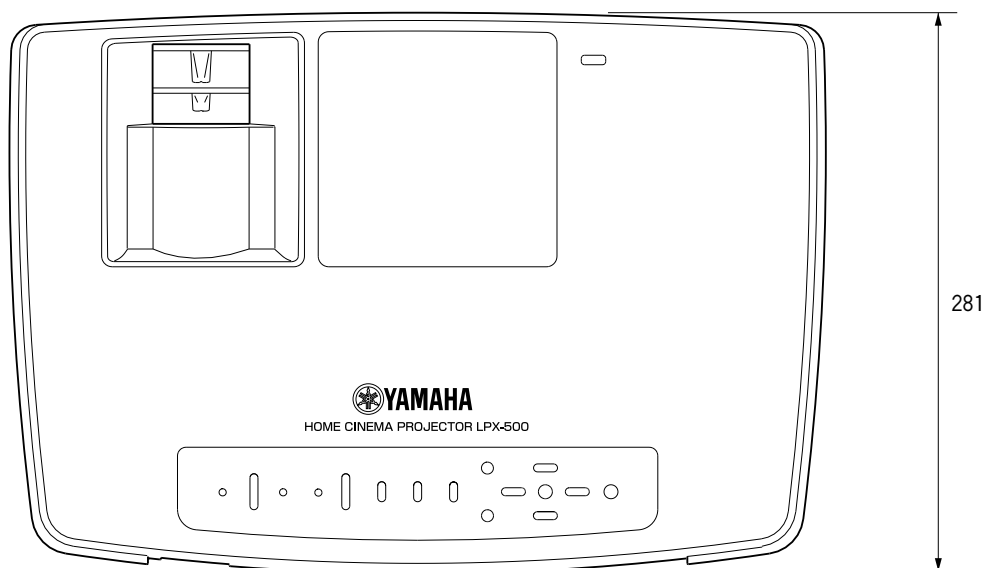
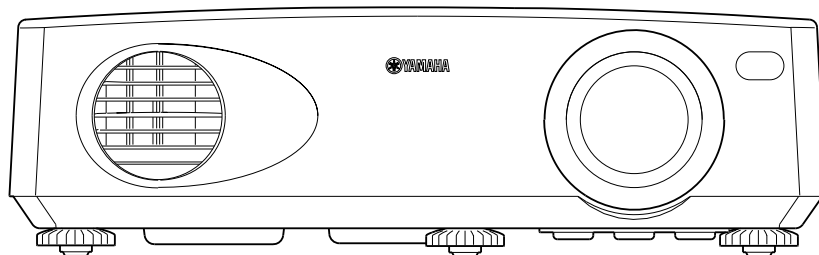
信号	解像度 (ズーム時)	表示モード					
		ノーマル (初期状態)	スクイーズ	ズーム	ズーム - 字幕 -	スルー	スクイーズ スルー
PC98	640 × 480 (640 × 360)	1152 × 720		1280 × 720		640 × 400	
640 × 350 70	640 × 350 (640 × 350)	1280 × 700		1280 × 700		640 × 350	
VGA▶▶60*, SDTV(480p)	640 × 480 (640 × 360)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	640 × 480 (4:3 アスペクト)	854 × 480 (16:9 アスペクト)
VGA 72/75/85, iMac_VGA	640 × 480 (640 × 360)	960 × 720		1280 × 720		640 × 480	
SVGA▶▶56/ 60*/72/75/ 85, iMac_SVGA	800 × 600 (800 × 450)	960 × 720		1280 × 720		800 × 600	
XGA▶▶ 43i/60*/70/ 75/85	1024 × 768 (1024 × 576)	960 × 720		1280 × 720		-	
1152 × 864 75	1152 × 864 (1152 × 648)	960 × 720		1280 × 720		-	
QVGA 60*/85	1280 × 960 (1280 × 720)	960 × 720		1280 × 720		-	
SXGA▶▶ 60*/75/85	1280 × 1024 (1280 × 720)	900 × 720		1280 × 720		-	
MAC13"	640 × 480 (640 × 360)	960 × 720		1280 × 720		640 × 480	
MAC16"	832 × 624 (832 × 468)	960 × 720		1280 × 720		832 × 624	
MAC19"	1024 × 768 (1024 × 576)	960 × 720		1280 × 720		-	
MAC21"	1152 × 870 (1152 × 648)	954 × 720		1280 × 720		-	
SDTV▶▶ (480i, 60Hz)	640 × 480 (640 × 360)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	590 × 442 (4:3 アスペクト)	786 × 442 (16:9 アスペクト)
SDTV (576i, 50Hz)	768 × 576 (768 × 432)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	700 × 525 (4:3 アスペクト)	934 × 525 (16:9 アスペクト)
SDTV (576P)	768 × 576 (768 × 432)	960 × 720 (4:3 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × 720 (16:9 アスペクト)	1280 × *** (可変)	700 × 525 (4:3 アスペクト)	934 × 525 (16:9 アスペクト)
HDTV▶▶ (720p)	1280 × 720	1280 × 720 (16:9 アスペクト)		-		1280 × 720 (16:9 アスペクト)	
HDTV (1080i, 1080p)	1920 × 1080	1280 × 720 (16:9 アスペクト)		-			

* はアナログ、デジタルの両方に対応していることを示しています。

仕様一覧

商品名	ホームシネマプロジェクター LPX-500		
外形寸法	幅409 ×高さ111 ×奥行き281mm (突起物含まず)		
パネルサイズ	0.87 型		
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス		
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み		
画素数	921,600 個 (横 1280 ×縦 720 ドット) × 3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動 (約 1 : 1.35)		
ランプ (光源)	UHP ランプ 定格 150W 型番 : P JL-5015		
電源	100-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 240W スタンバイ時 6.7W (100V 時)		
使用温度範囲	+ 5 °C ~ + 35 °C (結露しないこと)		
保存温度範囲	- 10 °C ~ + 60 °C (結露しないこと)		
質量	約 4.8kg		
接続端子	DVI 端子 :	1 系統	DVI-D
	INPUT A 端子 :	1 系統	4RCA ピンジャック
	INPUT B 端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス)
	VIDEO 端子 :	1 系統	RCA ピンジャック
	S VIDEO 端子 :	1 系統	ミニ DIN 4pin
	D4 VIDEO 端子	1 系統	D 端子
	RS-232C 端子 :	1 系統	D-Sub 9pin (オス)
	TRIGGER OUT 端子 :	1 系統	3.5mm ミニジャック

外形寸法図



単位：mm

各部の名称と働き

前面／上面

フォーカスリング ㊦ p.13
投写映像の焦点を合わせます。

ランプカバー ㊦ p.44
ランプの交換時にこのカバーを開けて、
中のランプを交換します。

ランプカバー開スイッチ ㊦ p.44
ランプカバーを取り外すときにこのス
イッチをスライドしてロックを外します。

ズームリング ㊦ p.10
投写映像のサイズを調整します。

操作パネル ㊦ p.53

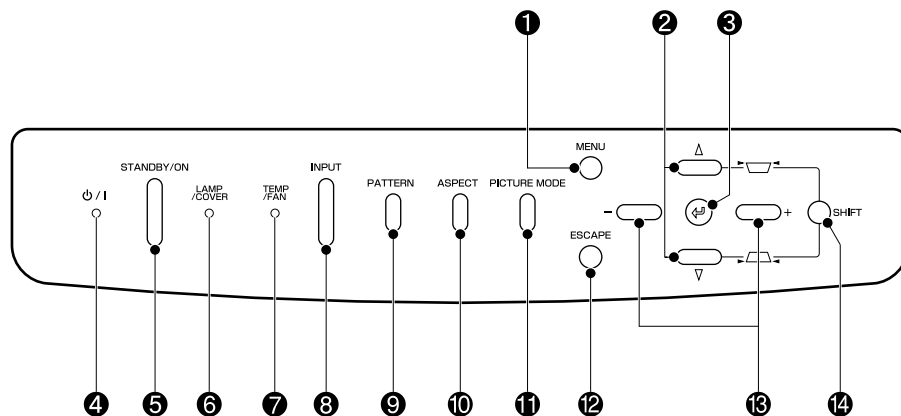
排気口

フロントフット ㊦ p.10
投写角度を調整するときに伸ば
します。

リモコン受光部
㊦「セットアップガイド」
リモコン信号を受信します。

レンズキャップ
本機を使用しないときに装着し、レンズが
傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。

本体操作パネル



① [MENU] ボタン ➤ p.18

押すたびにメニューを表示/終了します。

② Δ/▽ボタン ➤ p.11,19,20,22

メニューの項目を選択するときに押します。
[SHIFT] ボタンを押したまま、このボタンを押すと、映像の台形歪みを補正できます。

③ ⊕ボタン ➤ p.19,20,23

ラインメニューを表示します。
メニューが表示されているときは、メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。

④ ㊦/|インジケータ ➤ p.32

プロジェクター内部の温度異常などを示します。

⑤ [STANDBY/ON] ボタン ➤ p.7,8

電源を ON/OFF するときに押します。

⑥ LAMP/COVER インジケータ ➤ p.32

投写ランプの異常や交換時期などを示します。

⑦ TEMP/FAN インジケータ ➤ p.32

プロジェクターの動作状態を示します。

⑧ [INPUT] ボタン ➤ p.7

押すたびに INPUT A → INPUT B → D4 VIDEO → S VIDEO → VIDEO → DVI の順に投写する映像ソースを切り替えます。

⑨ [PATTERN] ボタン ➤ p.12

スクリーン調整用のテストパターンを投写します。
押すたびに、クロスハッチ→グレースケールパターン→パターン解除の順にパターンの表示/解除が切り替わります。

⑩ [ASPECT] ボタン ➤ p.14

投写映像のアスペクト比を 5 種類のアスペクトモードから選択できます。
押すたびに、ノーマル→スクイーズ→ズーム→ズーム - 字幕 → スルー→スクイーズスルーの順にアスペクトモードが切り替わります。

⑪ [PICTURE MODE] ボタン ➤ p.13

ピクチャーモードを選択します。押すたびに、A → B → C → PC → sRGB の順にピクチャーモードが切り替わります。

⑫ [ESCAPE] ボタン ➤ p.19,20

メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。

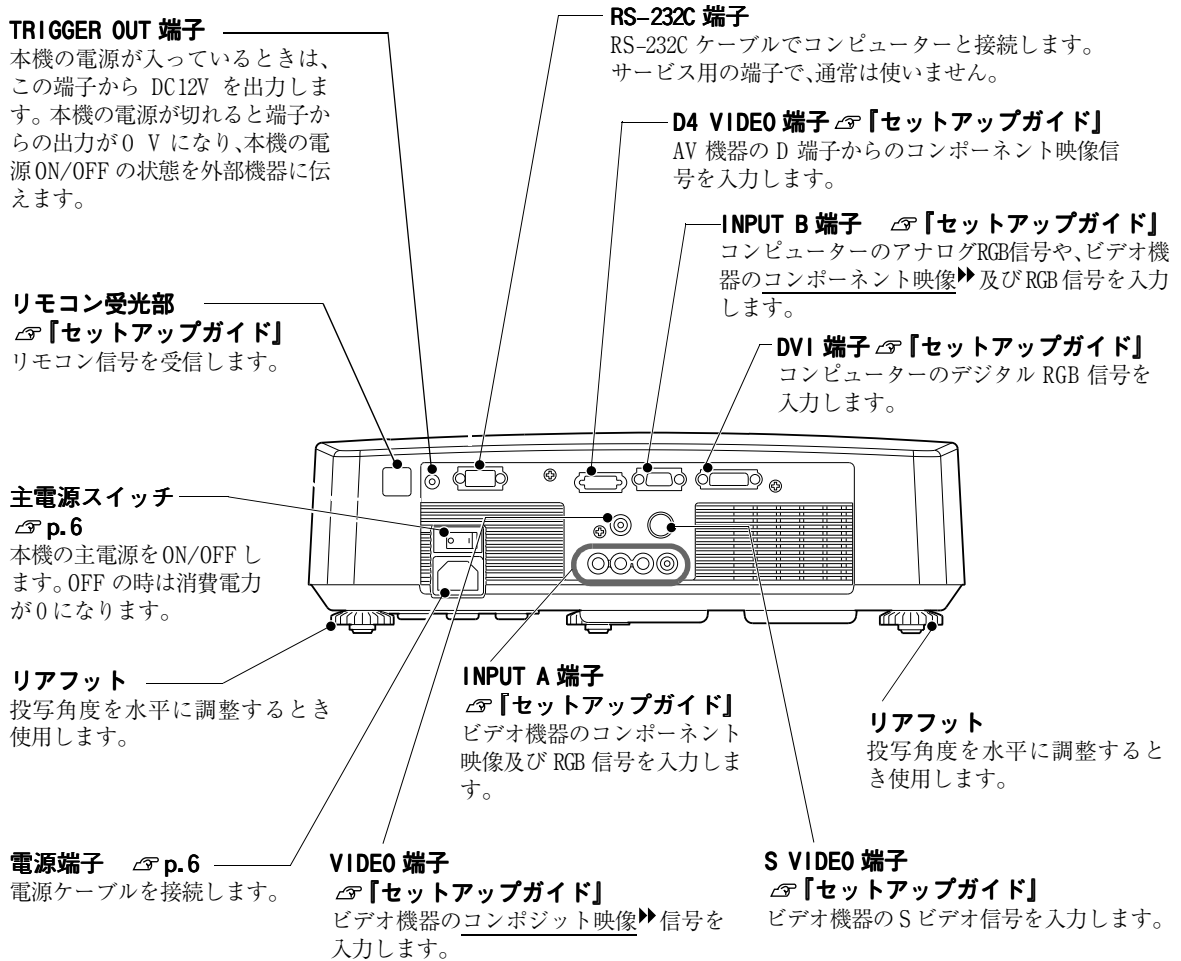
⑬ -/+ ボタン ➤ p.18,19,20,22

メニューの調整値を選択します。

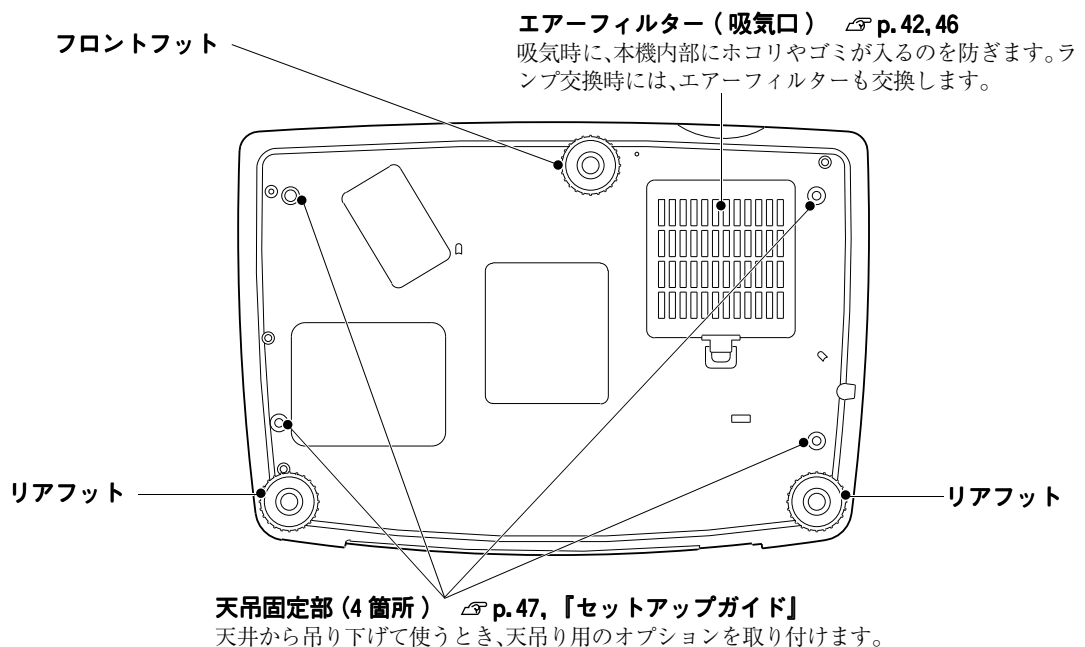
⑭ [SHIFT] ボタン ➤ p.11

このボタンは単体では機能しません。
このボタンを押したまま Δ ボタン、または ▽ ボタンを押すと、台形補正が行えます。

背面



底面



リモコン



用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

3-2 プルダウン検出型 IP 変換	映画フィルムと同じ 24 フレームで記録された映像ソースを、60 フレームのプロGRESSIVE 信号へと直接変換する機能です。これにより、24 フレームで記録された DVD ソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できます。
DCDi 機能	Directional Correlational Deinterlacing の略で、ファロージャ社が開発した高画質回路の機能名称です。最先端のエッジカッティング技術でインターレース→プロGRESSIVE 変換時のざざざをなくし、スムーズで自然な画像を再現します。
DVI	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格です。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 720p、1080i 以上 (p はプロGRESSIVE 走査、i はインターレース走査) 480p まで含まれる場合もあります。 ・画面のアスペクト比は 16:9 ・ドルビーデジタル音声の受信、再生 (あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものと呼ばれます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものと呼ばれます。
S ビデオ映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y (輝度信号) C (色信号) の 2 つの独立した信号からできている映像をいいます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものと呼ばれます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものと呼ばれます。
UXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのものと呼ばれます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 16:9 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 4:3 です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インターレース	一枚の映像を二度に分けて伝送する飛越走査のことで、静止画解像度が同一の画像を放送するのに必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済みます。
オフセット	画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R、G、B それぞれについて、暗い側の色みを調整します。
ガンマ	画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R、G、B それぞれについて、中間領域の色みを調整します。
クールダウン	本体の [STANDBY/ON] ボタン、またはリモコンの [STANDBY/ON] ボタンを押し電源を切っても、ランプの冷却は引き続き行われています。冷却ファンが回転すると同時に、操作パネルやリモコンのボタン操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 5 分です。この時間は外気温等によって変わります。
ゲイン	画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R、G、B それぞれについて、明るい側の色みを調整します。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。
コンポジット映像	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC 方式) です。ビデオ信号の中の伝送用信号 Y (輝度信号) とクロマ (色) 信号からできている映像を言います。
コンポーネント映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y (輝度信号) Pb、Pr (色差信号) の 3 つの独立した信号からできている映像をいいます。
色差信号 (コンポーネント)	ビデオ機器から赤 - 輝度 (R-Y)、輝度 (Y)、青 - 輝度 (B-Y) の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号 (赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式) とくらべて、よりきれいに投写することができます。

同期 (Sync.)	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
フィルム判定機能	映像ソースが 24Hz プログレッシブのフィルムソースかどうかを判別する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために 1 秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。

索引

アルファベット

- /|インジケータ 32, 53
- D4 VIDEO 端子
..... 7, 54, セットアップガイド
- DVI 端子 7, 54, セットアップガイド
- HDTV 14, 48, 49
- INPUT A 端子
..... 7, 54, セットアップガイド
- INPUT B 端子
..... 7, 54, セットアップガイド
- IP 変換 22, 27
- LAMP/COVER インジケータ 32, 53
- RGB 設定 25, 26
- RGB ビデオ映像 セットアップガイド
- SDTV 14, 48, 49
- sRGB 13, 25, 26
- S VIDEO 端子
..... 7, 54, セットアップガイド
- Sync. (同期) 16
- S ビデオ 48, セットアップガイド
- TEMP/FAN インジケータ 32, 54
- TRIGGER OUT 端子 54
- VIDEO 端子
..... 7, 54, セットアップガイド

アイウエオ

- ア**
アスペクト比 14
- 色合い 22, 24
- 色温度 21, 25, 26
- 色の濃さ 22, 24
- インジケータ 32, 53
- エアフィルターの交換方法 46
- エアフィルターの掃除 42
- 映像ソース 29, 30
- オーバーヒート 32
- オプション品 47
- オフセット調整 25, 26

カ

- 外形寸法図 51
- 解像度 48
- 各部の名称と働き 52
- 「画質」メニュー 22, 24
- カラーバランス 21, 22, 25, 26
- ガンマ 25, 26
- 起動画面 28, 43
- クールダウン 8, 34
- グレースケール 12
- クロスハッチ 12
- 黒レベル 21, 22, 24, 26
- ゲイン 25, 26
- 言語 28
- コントラスト 21, 37
- コンピューターとの接続
..... セットアップガイド
- コンピューター映像の自動調整 .. 16, 55
- コンポーネント映像
..... 48, 54, セットアップガイド

- コンポジット映像
..... 48, 54, セットアップガイド

サ

- サブメニュー 18, 24
- 自動パワーオフ 28
- シャープネス 22, 25, 26
- 周波数 30
- 終了 8
- 主電源スイッチ 6, 8, 54
- 仕様一覧 50
- 使用温度範囲 50
- 「情報」メニュー 29
- 白レベル 21, 22, 24, 26
- 「信号」メニュー 22, 27
- 垂直位置 15, 27
- 垂直サイズ 15, 27
- ズーム - 字幕 - モード 14, 15, 48, 49
- ズームモード 14, 15, 48, 49
- ズームリング 10, 52
- スクイーズスルー 14, 16, 48, 49
- スクリーンサイズ
..... セットアップガイド
- スルー 14, 16, 48, 49
- 接続端子 50, 54
- 設置方法 セットアップガイド
- 「設定」メニュー 28
- セットアップレベル 22, 27
- 全初期化メニュー 28
- 操作パネル 53

タ

- 対応解像度 48
- 台形にゆがむ場合の調整 11, 28
- テストパターン 12
- 電源ケーブル 6
- 電源端子 6, 54
- 電池カバー (リモコン)
..... セットアップガイド
- 電池の交換時期 (リモコン)
..... セットアップガイド
- 電池のセット (リモコン)
..... セットアップガイド
- 天吊り
..... 28, 47, 54, セットアップガイド
- 同期 (Sync.) 16, 26
- 同期極性 30
- 同期モード 30
- 投写角度 10
- 投写距離 セットアップガイド
- 投写サイズ セットアップガイド
- トップメニュー 18, 24
- トラッキング 16, 26

ナ

- 入力解像度 30
- 入力信号 29, 30
- ノイズリダクション 22, 27
- ノーシグナル表示 28

ハ

- 肌色調整 21, 25, 26
- ピクチャーモード 13, 22, 25, 26
- ビデオ機器との接続
..... セットアップガイド
- ビデオ信号方式 27
- 表示位置 16, 27
- ピント 13
- フォーカスリング 13, 52
- フット調整 10
- フルメニュー 18, 24
- フロントフット 10, 52
- 保存温度範囲 50
- 本体の掃除 42

マ

- メニュー 18, 24
- メニューの機能 24
- メニューの操作方法 18
- メモリー保存 22, 25, 26

ヤ

- 用語解説 56

ラ

- ランプ点灯時間 29, 30, 45
- ランプ時間初期化 29, 30, 45
- ランプの交換時期 43
- ランプの交換方法 44
- ランプカバー 44, 52
- リアフット 10, 54
- リモコン 55, セットアップガイド
- リモコン受光部
..... 52, 54, セットアップガイド
- リモコン発光部
..... 55, セットアップガイド
- リフレッシュレート 30
- レンズキャップ 52
- レンズの掃除 42

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはヤマハおよびヤマハ指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) ヤマハ純正品、およびヤマハ品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源高調波について

本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2 は、International Business Machine Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows2000 は米国マイクロソフト社の商標です。

© 2001 Sage, Inc すべての権利はSage, Incに帰属します。DCDiはSage, Incの事業部門であるfaroudjaの登録商標です。

YAMAHA はヤマハ株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● 保証期間

お買上げ日より1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

- ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境或使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121
- 浜松 〒435-0016 浜松市和田町200ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高浜店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audiod/>



環境にやさしい大豆油インキ
を使用しています。

Printed in Japan
403256700



HOME CINEMA PROJECTOR

ホーム シネマ プロジェクター

LPX-500

セットアップガイド

1

リモコンをお使いになる前に
電池のセット方法
電池の交換時期とリモコンの使い方
リモコンの操作範囲

2

設置しよう
スクリーンのサイズと設置距離
いろいろな設置方法

3

ビデオ機器との接続

4

コンピューターとの接続

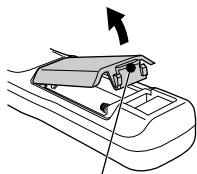
電池のセット方法

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、添付の乾電池をセットします。



電池を取り扱う際は、『取扱説明書』の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、電池取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

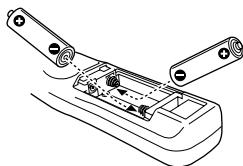
1



電池カバーを外します。

ここを押さえながら、上へ持ち上げます。

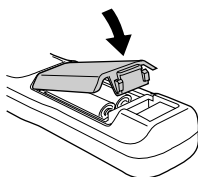
2



電池をセットします。

電池ホルダ内の(+)(-)の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。

3



電池カバーを取り付けます。

電池カバーのツメの部分を差し込んでから、カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

電池の交換時期とリモコンの使い方

電池の交換時期

リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は、電池の寿命が考えられます。電池を新しいものと交換してください。

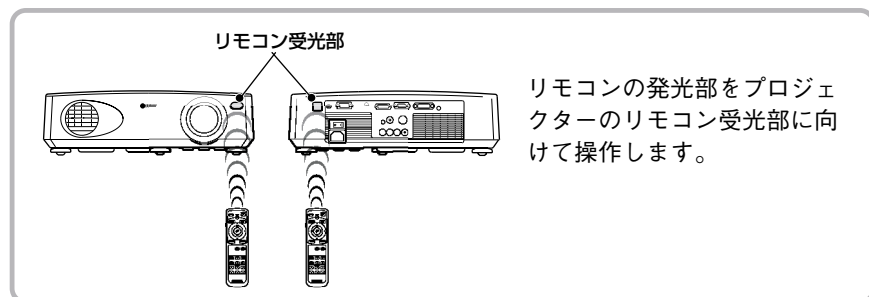
電池の交換時期の目安：1日30分使用した場合で約3ヶ月

※ただし、この期間は使用状態や使用環境により変化します。

交換用の電池は、次のものをご用意ください。

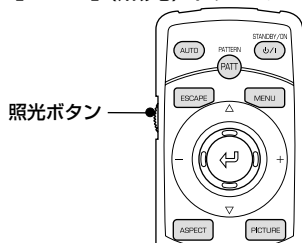
単3乾電池×2本

使い方



プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。

[LIGHT] (照光) ボタンについて

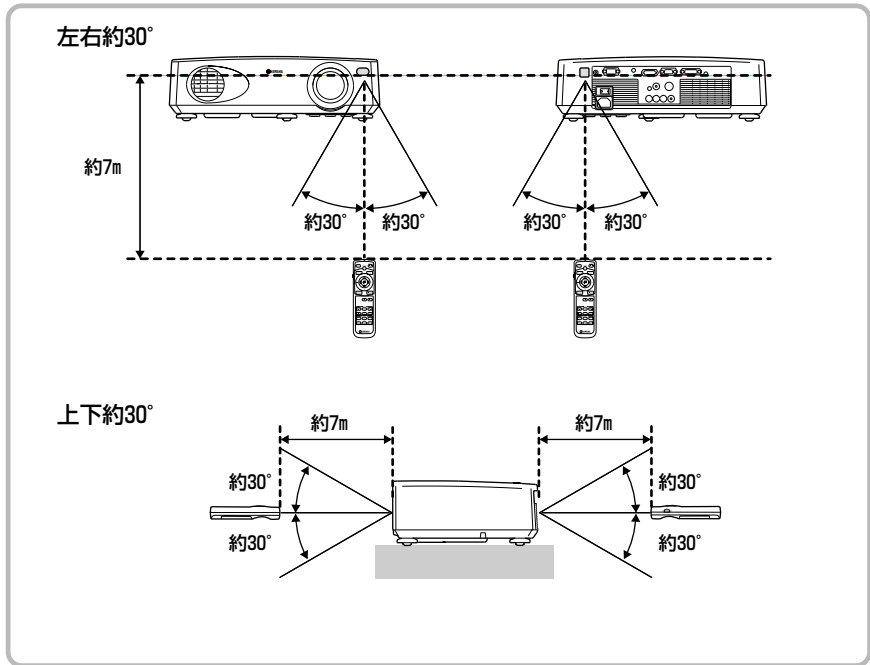


[LIGHT] ボタンを上または下にスライドさせると、左図の色つきボタンが10秒間光ります。照光中に[LIGHT] ボタンを上または下にスライドさせると、さらに10秒間光ります。

リモコンの操作範囲

リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作できません。

操作可能距離	操作可能範囲
約7m	上下左右約30°



スクリーンのサイズと設置距離

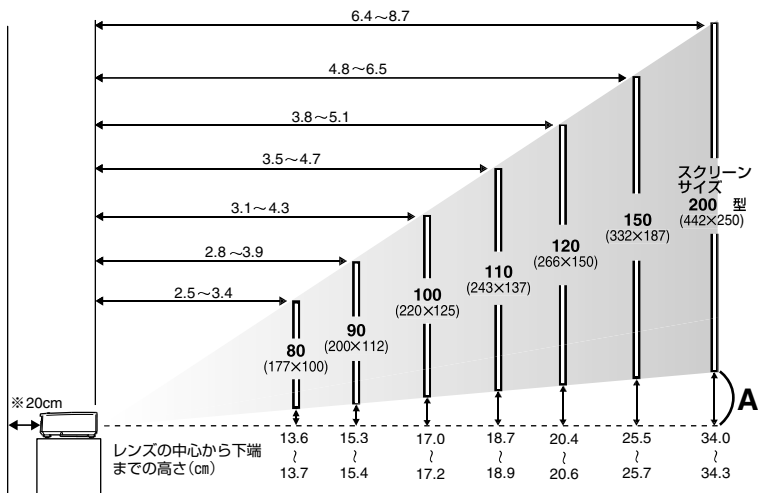
本機のレンズからスクリーン(16:9)までの距離により投写画面サイズが異なります。

推奨距離範囲 : 0.9m~13.0m

下表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるように設置してください。

スクリーンサイズ(cm)	およその投写距離※(m)	下図Aの寸法(cm)
80型(177×100)	2.5~3.4	13.6~13.7
90型(200×112)	2.8~3.9	15.3~15.4
100型(220×125)	3.1~4.3	17.0~17.2
110型(243×137)	3.5~4.7	18.7~18.9
120型(266×150)	3.8~5.1	20.4~20.6
150型(332×187)	4.8~6.5	25.5~25.7
200型(442×250)	6.4~8.7	34.0~34.3

※距離や寸法の値は設置の目安にしてください。投写条件により、変わる場合があります。



※壁際に設置する場合は、
壁から20cm以上の間隔をあけてください。



- 本機のレンズは約1.35倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.35のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

いろいろな設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

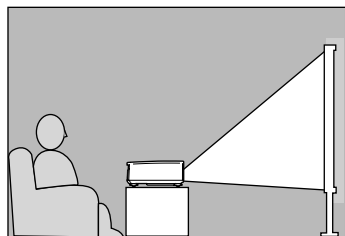
設置した後の電源投入や投写画面の調整などについては、別冊の『取扱説明書』をご覧ください。📖『取扱説明書』「基本的な操作」



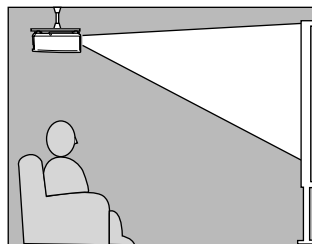
注意

設置にあたっては、『取扱説明書』の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、設置上の注意を確認してから行ってください。

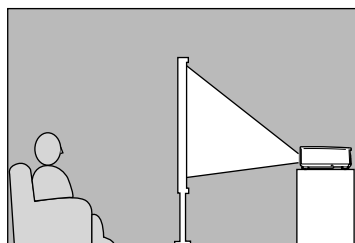
正面から投写する



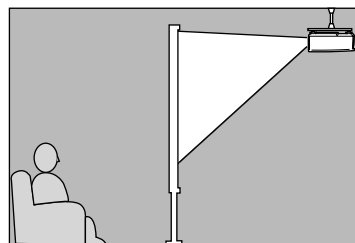
天吊りして正面から投写する



半透過性のスクリーンへ
裏側から投写する



半透過性のスクリーンへ
裏側から天吊りして投写する



※天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、メニューの「設定」-「設置状態」を設置の状態に合わせて変更してください。📖『取扱説明書』「設定」メニュー



注意

天吊り設置には特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

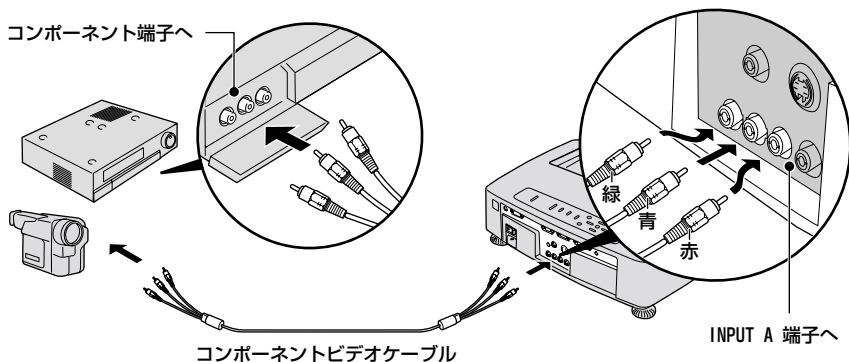


注意

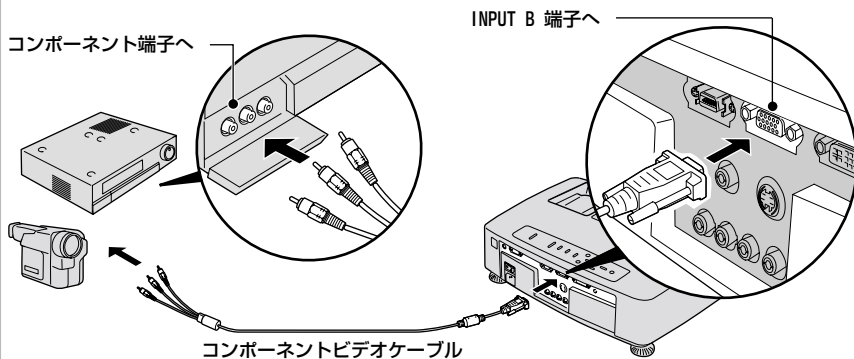
- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

コンポーネント映像を映す

INPUT Aに接続する場合



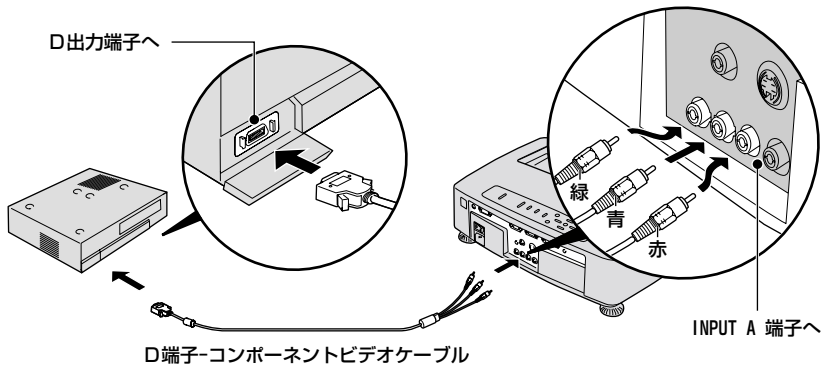
INPUT Bに接続する場合



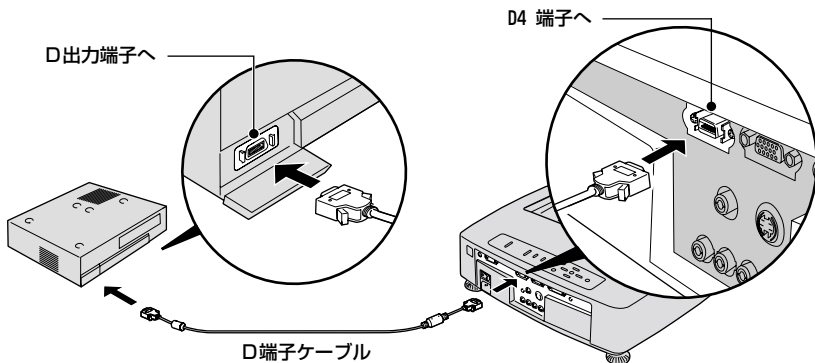
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後にメニューの「信号」-「INPUT A 信号」または「INPUT B 信号」で、機器の信号に合わせて「コンポーネント」に設定します。
☞ 『取扱説明書』 「「信号」メニュー」
- 各入力端子に別々の映像信号を同時に入力した場合、信号間の干渉により、ノイズが発生することがあります。このようなときには、使用していない映像機器側の電源を切るか接続を外して利用してください。

D出力端子のあるAV機器の映像を映す

INPUT Aに接続する場合



D4端子に接続する場合

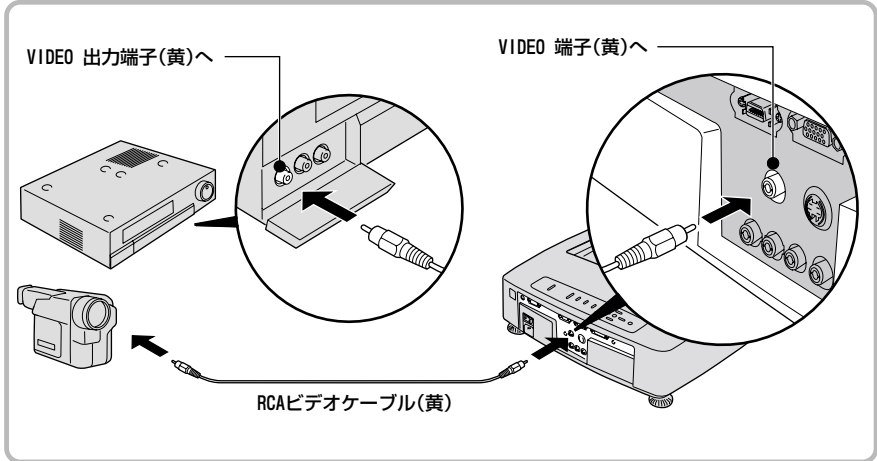


- INPUT A端子に接続した後は、メニューの「信号」-「INPUT A 信号」で「コンポーネント」に設定します。

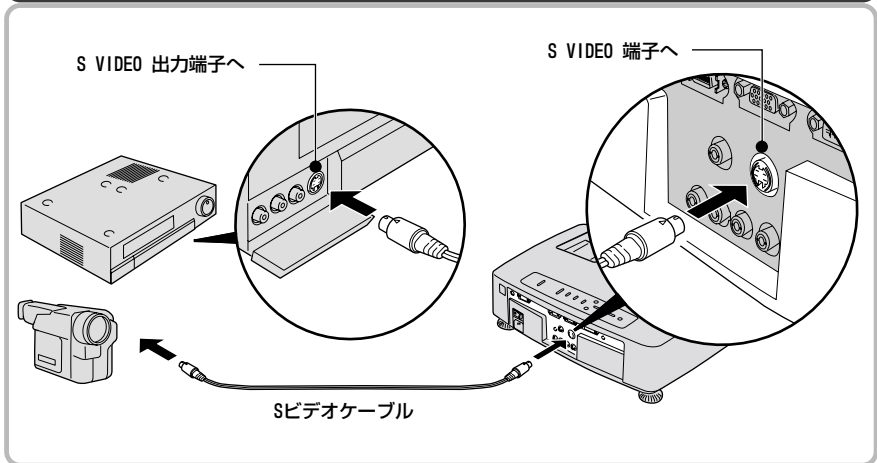
☞『取扱説明書』 「「信号」メニュー」

- D4規格までのAV機器に対応しています。

コンポジット映像を映す

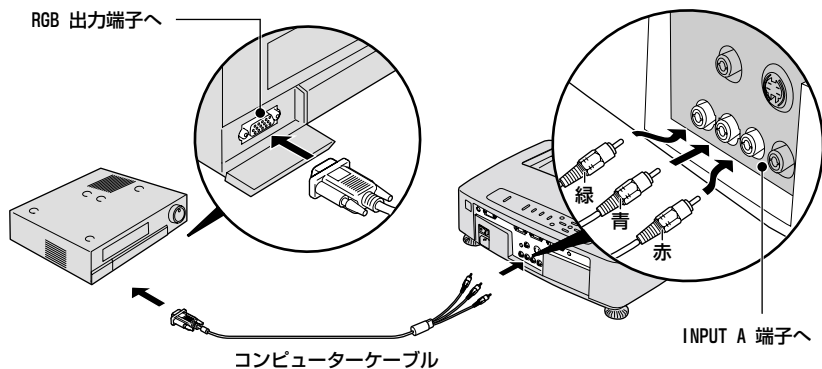


Sビデオを映す

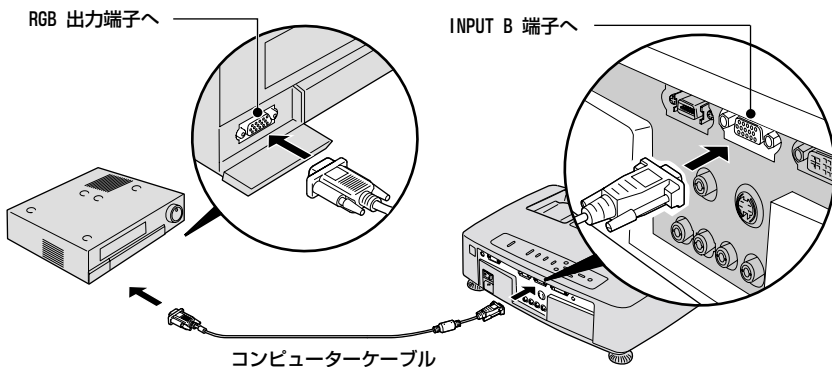


RGBビデオ映像を映す

INPUT Aに接続する場合



INPUT Bに接続する場合



本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後にメニューの「信号」-「INPUT A 信号」または「INPUT B 信号」で、機器の信号に合わせて「RGB」に設定します。

☞ 『取扱説明書』 「「信号」メニュー」



注意

- 接続する前に本機とコンピューターの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

コンピューターによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピューターの条件と照らし合わせて確認してください。

条件1：接続するコンピューターに映像信号の出力端子があること

コンピューターに「RGB端子」「モニター端子」「ビデオ端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。コンピューターとモニターが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書の「外付けのモニターを接続する」などの項目をご覧ください。

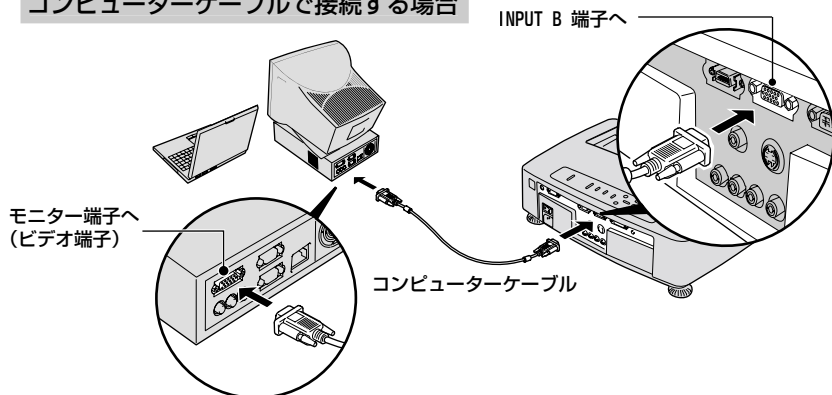
条件2：接続するコンピューターの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること

☞『取扱説明書』『付録 対応解像度一覧』
コンピューターによっては出力解像度を変更できますので、コンピューターの取扱説明書をご覧になり、対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。



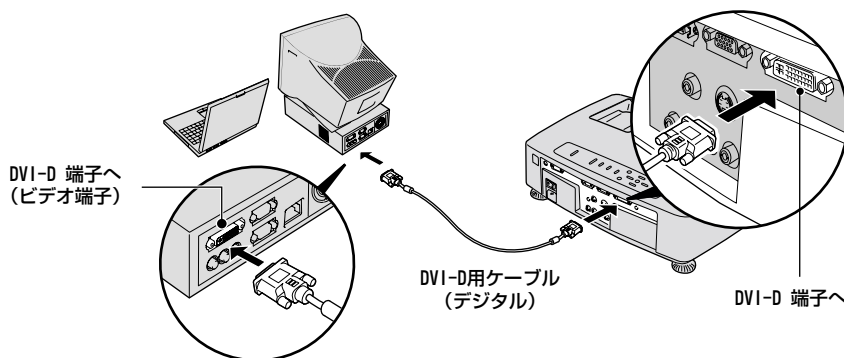
- コンピューターの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプター類などが必要になることがあります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Macintoshと接続するには、市販のアダプターが必要な場合があります。

コンピューターケーブルで接続する場合



- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後にメニューの「信号」-「INPUT B 信号」で「RGB」に設定します。
☞『取扱説明書』 「「信号」メニュー」
- 各入力端子に別々の映像信号を同時に入力した場合、信号間の干渉により、ノイズが発生することがあります。このようなときには、使用していない映像機器側の電源を切るか接続を外して利用してください。

コンピューターにDVI-D出力端子が搭載されている場合



- 電源ケーブルとコンピューターケーブル、DVI-D用ケーブルと一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- DVIケーブルは2種類あります。本機の接続にはDVI-Dケーブルをお使いください